



第7次 八戸市総合計画

ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

資	料	1
令和7年6月24日		
R07 総市委03		

第7次八戸市総合計画

【施策シート②】

第3回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和7年6月24日

八戸市

○施策シート目次

政策3 「暮らし」を守る（政策分野：環境・防災・防犯・健康）	P 1
政策4 「ともに生きる社会」をつくる （福祉・コミュニティ・多文化共生）	P 42

○施策シートの見方

■基本的な考え方

各政策の基本的な考え方を総合計画の冊子から転記しています。

■施策の体系

各政策の内容を体系的に掲載しています。

- ・政策…市が目指すべきまちづくりの方向を示すものです。
- ・施策の方向性…政策を推進するために、どのような方向性で施策を展開していくのかを示すものです。
- ・施策…施策の方向性ごとに、今後の方策を示すものです。

■各施策について、施策の内容のほか、以下の項目を記載しています。

（1）施策を推進するための事務事業

施策を推進するための事業について、代表的な事業と担当課を記載しています。各事業の具体的な内容については、第7次総合計画付属資料「令和6年度 政策を推進するための事業一覧」に掲載しています。

（2）市民アンケートの結果

施策の進行管理を目的として、令和7年3月に実施した市民アンケートの調査結果（施策の満足度）を記載しています。

（3）進行管理指標の動向

施策の進捗状況を確認するための指標の動向を記載しています。

（4）施策の進行状況に対する市の自己評価

市民アンケートの結果及び進行管理指標の動向に基づく、市の自己評価及び評価理由を記載しています。

（5）施策に対する委員会の評価

（4）に記載した市の自己評価の妥当性を審議いただき、記入する欄を設けています。

（6）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見を記入する欄を設けています。

<基本的な考え方>

市民の暮らしは、豊かな自然環境に恵まれながら、常に予期せぬ災害や犯罪被害、感染症の流行といった脅威に直面する可能性がある中で営まれており、誰もが良好な環境のもとで健康で安全安心な暮らしを続けていくためには、恵まれた自然環境や衛生的な生活環境を維持しつつ不測の事態に適切に対処していくことが重要です。

これまで、当市では、空気や水を清浄に保ちながら、豊かな自然環境を将来の世代に引き継ぐことができるよう、環境保全の充実やごみ処理の適正化を図るとともに、地球温暖化対策を推進してきました。

また、市民の生命や財産を予期せぬ災害や犯罪被害、事故などから守り、安全安心な生活を送ることができるよう、自助・共助・公助の連携のもと、地域防災体制の構築やハード・ソフト両面における防犯・交通安全対策を推進するとともに、消防・救急体制の確立や消費者支援の充実に取り組んできました。

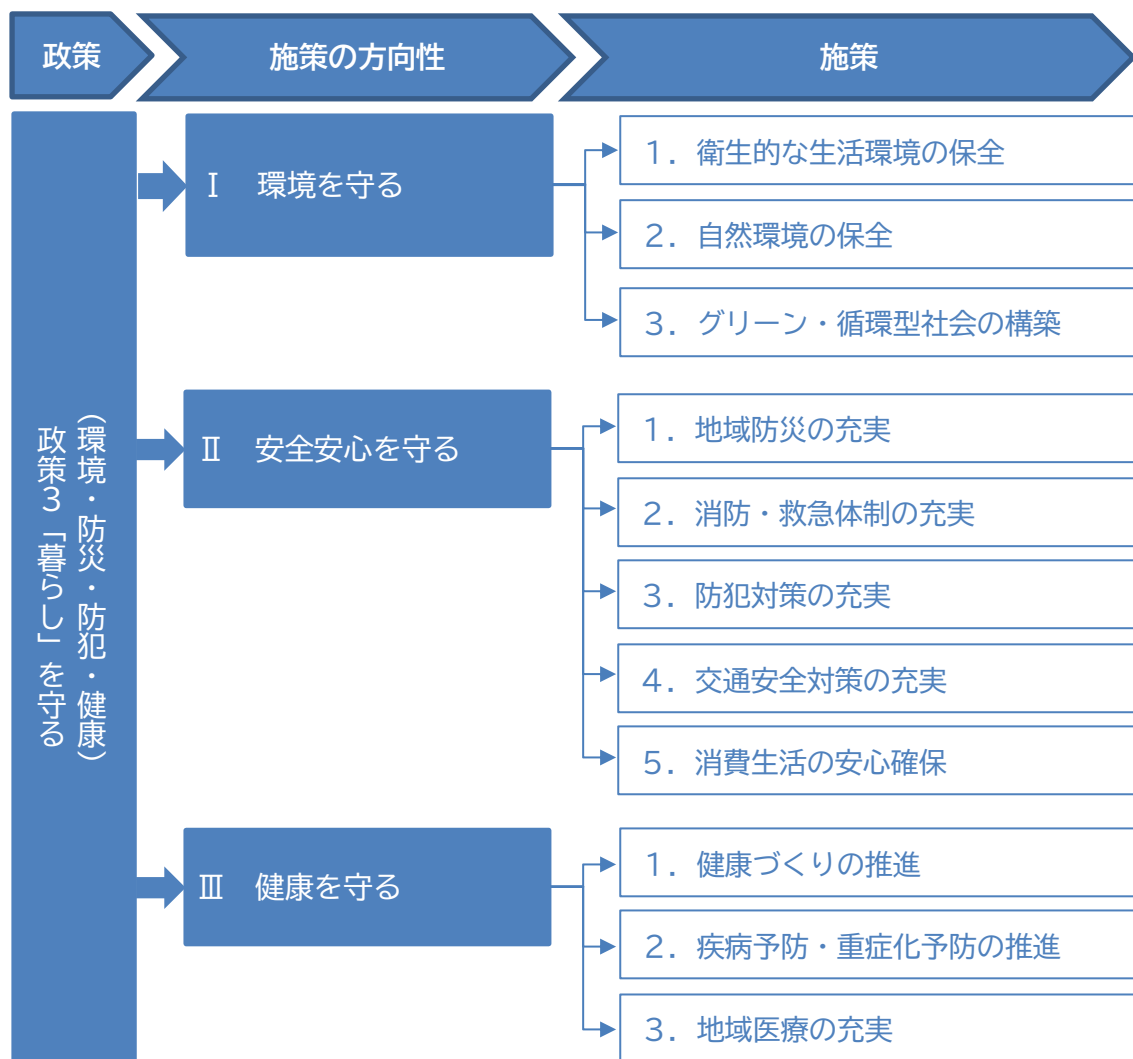
加えて、市民が心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、市民の主体的な取組を促進しながら、地域の保健・医療機関と連携し、保健医療の充実に取り組んできました。

こうした中、近年の気候変動に対する国の動きを背景として、当市においても持続的な自然との共生を目指し、地球温暖化防止のための更なる対応が求められるとともに、新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症の流行や、激甚化・多発化している風水害、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震など、今後起こり得る不測の事態から、市民の「暮らし」を守る必要があります。

このようなことから、当市では、衛生的な生活環境や自然環境の保全、グリーン・循環型社会の構築に取り組み、暮らしの環境を守るとともに、地域防災や消防・救急体制、防犯・交通安全対策の充実、消費生活の安心確保を図り、安全安心な暮らしを守ります。

さらに、健やかな暮らしを守るため、健康づくりや疾病予防・重症化予防を推進するとともに地域医療の充実を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性Ⅰ 環境を守る

施策１．衛生的な生活環境の保全

目 指 す 姿	・ 大気環境や水環境が良好な状態に保たれている。 ・ 環境保全に対する市民の意識が高まり、市民一人ひとりに環境に配慮した生活が定着している。 ・ 家庭や事業所において排出されるごみが適正かつ安定的に処理されている。
施策の内容	市民や事業者等の環境保全意識の向上に取り組むとともに、環境保全対策の充実を図ります。また、適正なごみ処理や不法投棄の防止を推進します。

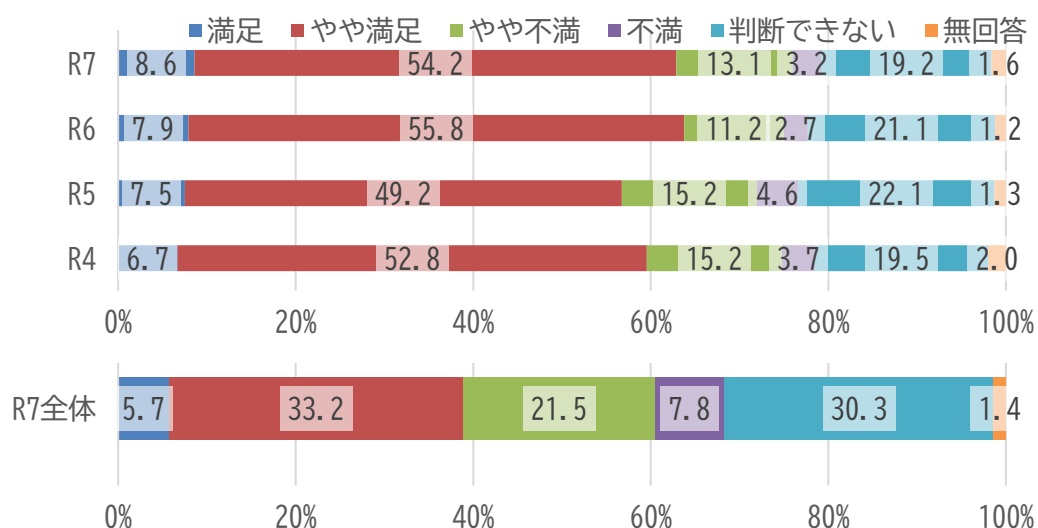
(１) 施策を推進するための事務事業

(23 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
大気汚染防止対策事業	環境保全課	P 54
悪臭発生防止対策事業	環境保全課	P 54
自動車騒音調査事業	環境保全課	P 54
公共用水域水質調査事業	環境保全課	P 54
特定事業場排水等調査事業	環境保全課	P 54
地下水水質調査事業	環境保全課	P 54
水浴場水質調査事業	環境保全課	P 54
市庁敷地内放射線量モニタリングと公表（国）	環境保全課	P 54
専用水道・簡易専用水道調査事業	衛生課	P 55
衛生営業六法に基づく事業	衛生課	P 55
食品衛生法に基づく事務	衛生課	P 55
ダイオキシン類対策特別措置法に基づく事務	環境保全課	P 55
生活排水対策事業	環境保全課	P 55
市民による放射線量測定	環境保全課	P 55
はちのへクリーンパートナー制度事業	環境政策課	P 56
八戸市ボランティア用ごみ袋配付事業	環境政策課	P 56
八戸市環境美化協議会補助事業	環境政策課	P 56
正しいごみの分け方・出し方啓発活動事業	環境政策課	P 56
ごみ減量推進員配置事業	環境政策課	P 56
ごみ減量キャンペーン事業	環境政策課	P 56
事業系ごみ減量促進事業	環境政策課	P 57
不法投棄対策	清掃事務所	P 57
産業廃棄物等適正処理推進事業	環境保全課	P 57

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民や事業者が環境に配慮した生活を意識し、良好な大気環境や水環境が保たれるよう、衛生的な生活環境の保全が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 7位／全55問

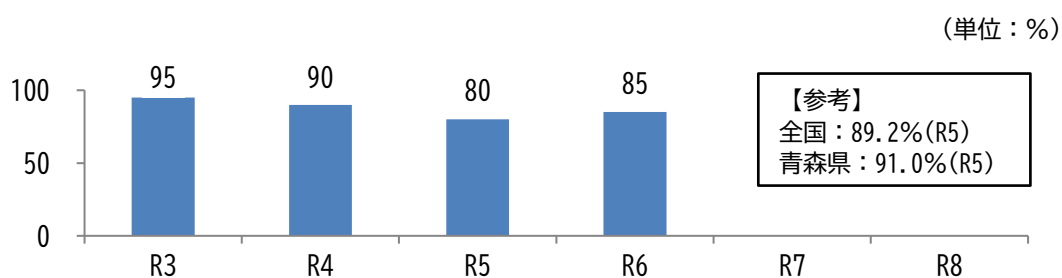
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①公共用水域の環境基準達成率

資料：八戸市（各年度集計）

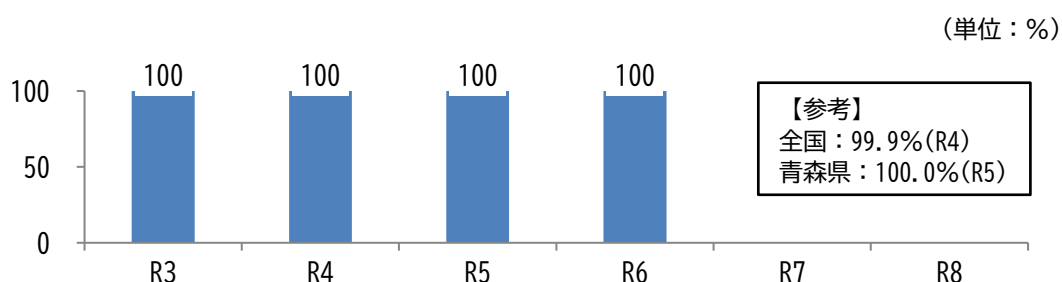
指標の定義：公共用水域（河川・海域・湖沼）の環境基準点における調査結果で代表的な指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）の環境基準を達成した割合



②一般環境大気の大気環境基準達成率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：一般環境大気の大気環境基準点における調査結果で代表的な指標である二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質の環境基準を達成した割合

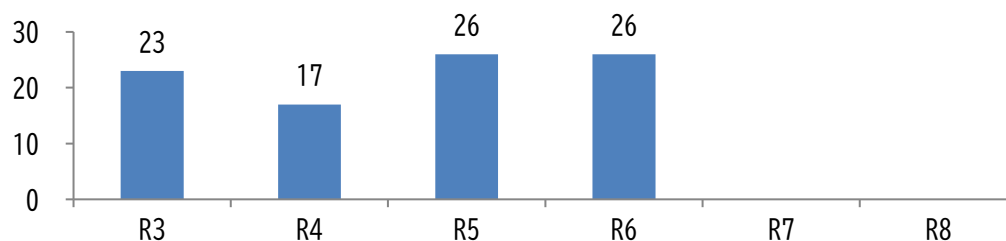


③環境学習会の開催回数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：環境啓発を目的とした環境学習会の開催回数

（単位：回）

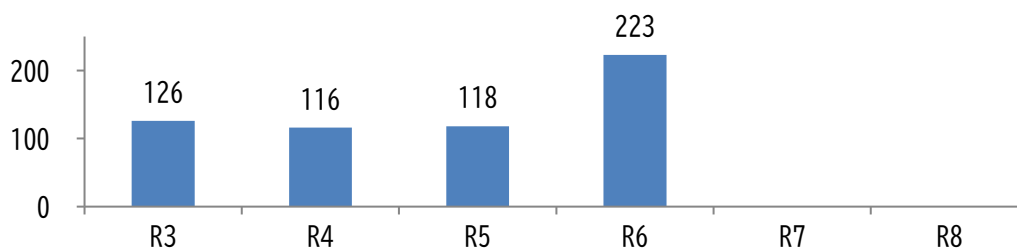


④不法投棄パトロールの実施日数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：一般廃棄物に係る不法投棄パトロールの日数と産業廃棄物に係る不法投棄パトロールの日数の合計

（単位：日数）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 指標①及び②の動向には臨海部の事業場等の影響に加え、自然的要因が影響するものの、各法に基づく届出事業者等に対する立入検査を通じた調査・指導を適切に行うことで、衛生的な生活環境が良好な状態に保たれるよう努めている。
- 環境学習会については、荒天により開催回数は前年度と同数となったが、開催希望校は年々増加していることから、引き続き開催に向けて進めていく。また、令和7年度からは、八戸工業大学を中心に構成される「HIT カーボンニュートラル人材育成協議会」と連携し、講座内容のリニューアルを図るなど今後も増加に向けて努めていく。
- 指標④については、不法投棄を防止するために不法投棄多発地点などに監視カメラを設置するとともに、年間を通じて市内のパトロールを展開し、不法投棄の早期発見に努めており、不法投棄の防止を推進している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策２．自然環境の保全

目指す姿	・美しく豊かな自然が維持され、市民が自然にふれあう機会が数多く創出されている。
施策の内容	自然保護団体や協力事業者との連携による自然保護活動を推進するとともに、市民が自然に触れ合える環境づくりに取り組みます。

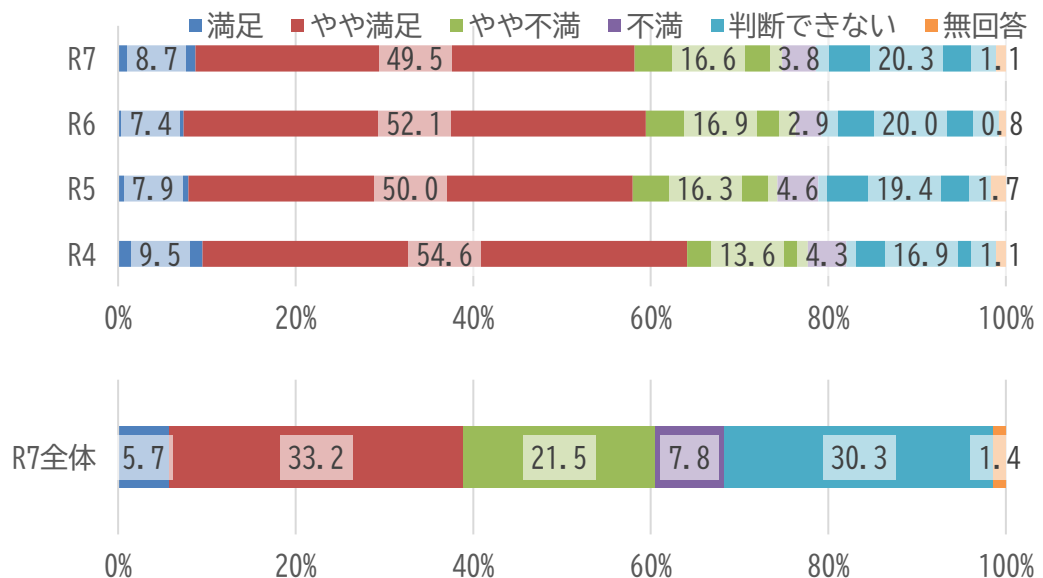
(１) 施策を推進するための事務事業

(４事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
名勝種差海岸保護事業	社会教育課	P 57
天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保護事業	社会教育課	P 58
市民の森不習岳の施設改修等事業	農林畜産課	P 58
海洋ゴミ回収事業	環境政策課	P 58

(２) 市民アンケートの結果

【設問】美しく豊かな自然景観が維持され、次世代に継承されるよう、自然保護活動の推進など、自然環境の保全が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 9位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

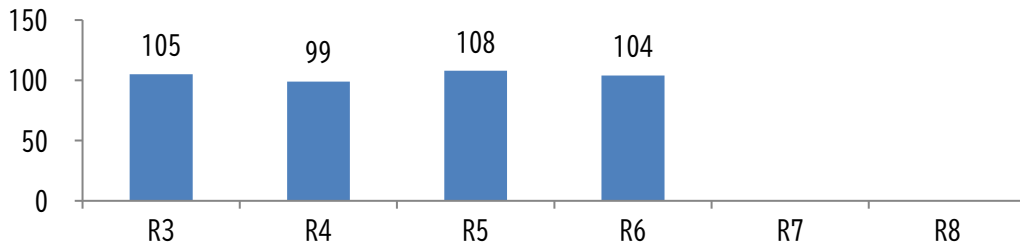
(3) 進行管理指標の動向

①名勝種差海岸保護指導員によるパトロール回数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：名勝種差海岸保護指導員によるパトロール回数

(単位：回)

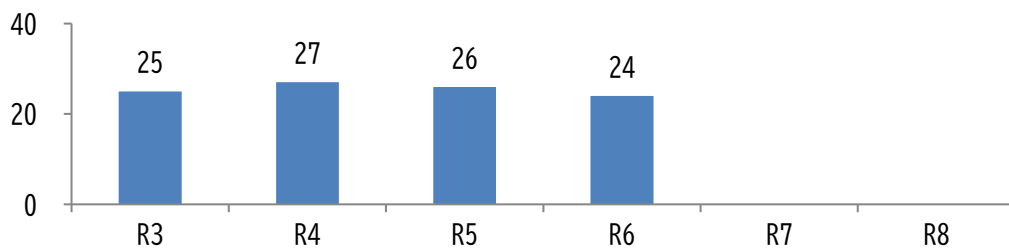


②外来生物の駆除実施日数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：外来生物の駆除実施日数

(単位：日)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 名勝種差海岸保護事業について、依頼した10回以上のパトロールが名勝8地区で実施された結果、景観が保全されており、前年度より回数は減っているが効果が出ている。
- 外来生物の駆除については、種差海岸における外来生物（オオハンゴンソウ）の駆除を名勝種差海岸保護事業及び有志の方のボランティア活動を通じて実施しており、これまでの駆除活動により、外来生物の繁殖が抑制されていると推察されることから、駆除実施日数は減少しているものの、効果が得られている。
- 市民が安心・安全に自然と触れ合えるように市民の森不習岳の施設については、計画的に園路や林間歩道等の施設改修を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策3. グリーン・循環型社会の構築

目指す姿	・市民や事業者、行政が主体的に省エネルギー対策に取り組むことでエネルギー利用の効率化が進んでいる。 ・家庭や企業において再生可能エネルギーの活用が進んでいる。 ・3Rの取組が徹底された生活様式や事業活動が定着している。
施策の内容	市民や事業者に対する省エネルギーの普及啓発や、再生可能エネルギーの導入に向けた意識啓発、家庭や事業所における3R活動の促進など温室効果ガスの排出量削減に向けた取組を推進します。

(1) 施策を推進するための事務事業

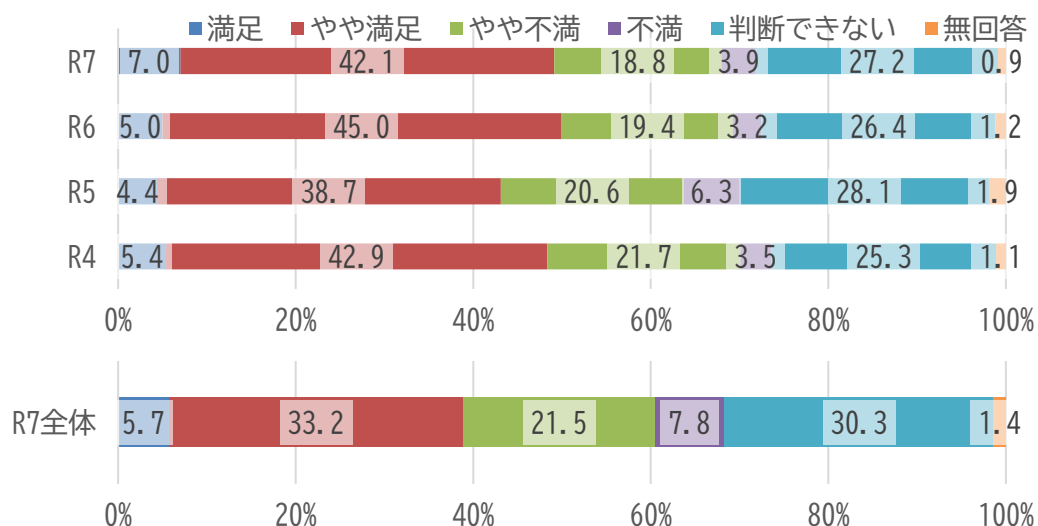
(9事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
環境教育推進事業	環境政策課	P 59
八戸市地球温暖化対策地方公共団体実行計画推進事業	環境政策課	P 59
地球温暖化対策理解促進事業	環境政策課	P 59
脱炭素化推進事業	環境政策課	P 59
再エネ・省エネ設備導入促進事業	環境政策課	P 59
民間路線バス運転手確保維持補助金事業	政策推進課	P 59
資源集団回収促進事業	環境政策課	P 60
小型家電リサイクル事業	環境政策課	P 60
廃食用油利活用事業	環境政策課	P 60

(2) 市民アンケートの結果

【設問】省エネルギーや3R活動の推進、再生可能エネルギーの導入に向けた意識啓発など、グリーン・循環型社会の構築が進んでいる。

※3R：Reduce（リデュース・ごみの発生抑制）、Reuse（リユース・再利用）、Recycle（リサイクル・再資源化）のこと。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 12位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

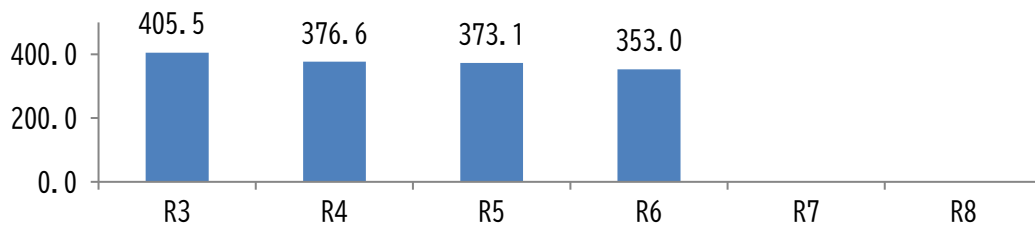
(3) 進行管理指標の動向

①市内の二酸化炭素排出量

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内の産業、工業プロセス、運輸、民生家庭、民生業務、廃棄物、エネルギー転換の各部門から排出された二酸化炭素排出量の合計

(単位：万トン)



※参考比較指標：二酸化炭素削減率（基準年度：2013 年度比）2021 年度時点

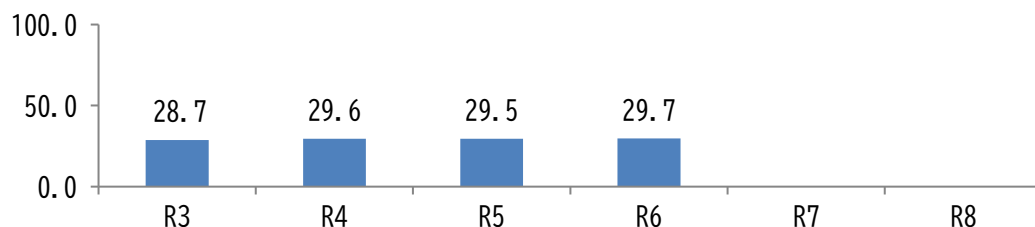
八戸市 -20.8%
青森県 -23.0%
全 国 -19.3%

②リサイクル率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：ごみ排出総量のうち、再生利用量の割合

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 市民や事業者の省エネに対する意識の向上や省エネ技術の向上によるエネルギー消費量の減少によって、二酸化炭素の排出量も減少していることから、今後は更なる削減に向けて、令和7年度からは新たに、公共施設の脱炭素化に向けた LED 照明器具導入に係る ESCO 事業可能性調査などを行うゼロカーボンオフィス推進事業を実施するほか、引き続き再生可能エネルギーの導入促進に向けた取組を進めていく。
- 人口減少や民間商業施設における資源物の店頭回収の普及等を要因として、行政が収集するごみの総量は減少傾向にあるものと推測しているが、そのような中、資源物の収集量は一定程度確保されており、リサイクル率はほぼ横ばいで推移している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

■ 施策の方向性Ⅱ 安全安心を守る

施策１．地域防災の充実

目 指 す 姿	・激甚化する災害に迅速かつ的確に対処できる体制が構築され、発災時において市民の生命と財産が守られている。
施策の内容	市民の防災意識の醸成や、防災訓練の充実を図るとともに、ハードとソフト両面での防災体制の強化に取り組みます。また、自主防災組織の育成支援など地域における防災力の強化を図ります。

(１) 施策を推進するための事務事業

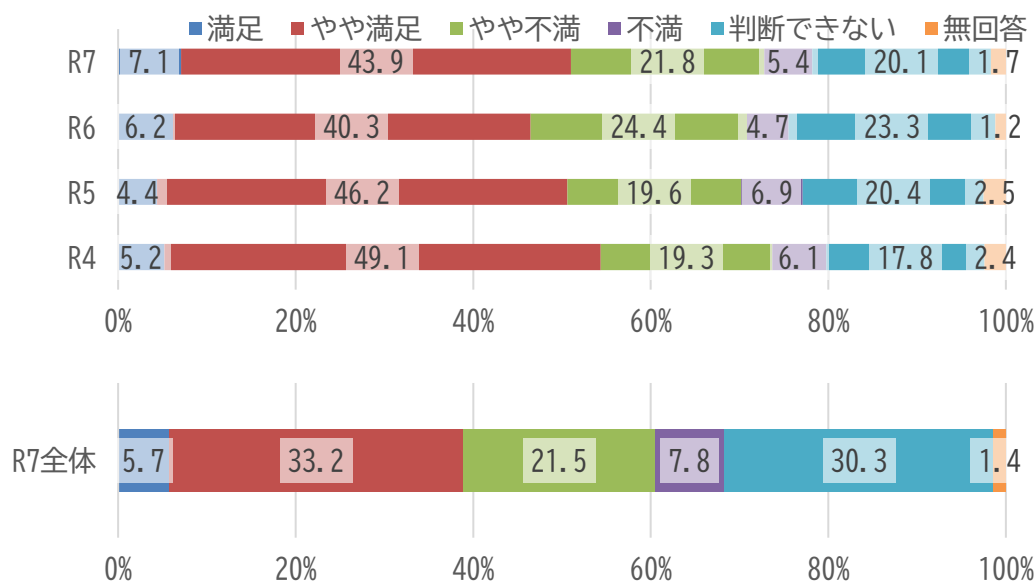
(32 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
防災市民研修会開催事業	災害対策課	P 60
東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開事業	災害対策課	P 60
防災教育副読本導入事業	教育指導課	P 60
防災教室支援事業	教育指導課	P 60
総合防災訓練の実施	災害対策課	P 61
地区防災訓練の実施	災害対策課	P 61
図上訓練実施事業	災害対策課	P 61
事業所における防災訓練の充実	災害対策課	P 61
安全・安心情報発信事業	危機管理課	P 61
避難所運営体制整備事業	災害対策課	P 61
急傾斜地崩壊対策促進事業	港湾河川課	P 61
小・中学校における防災体制の強化	教育指導課	P 62
福祉避難所整備事業	福祉政策課	P 62
福祉避難所整備事業（福祉公民館・総合福祉会館の維持管理）	福祉政策課	P 62
福祉避難所整備事業	障がい福祉課	P 62
木造住宅耐震化支援事業	建築指導課	P 62
耐震対策緊急促進事業	建築指導課	P 62
国土強靱化地域計画推進事業	危機管理課	P 62
宅地耐震化推進事業	建築指導課	P 62
市道冠水被害対策事業	道路維持課	P 63
緊急浚渫推進事業	港湾河川課	P 63
津波避難誘導標識等整備事業	災害対策課	P 63
防災重点農業用ため池防災対策促進事業	港湾河川課	P 63
防災・危機管理体制強化事業	危機管理課	P 63
危険ブロック塀等安全対策支援事業	建築指導課	P 63
津波避難施設の整備等に関する基本方針策定事業	危機管理課	P 63
避難所運営体制の整備事業	災害対策課	P 63

災害用備蓄物資の充実事業	災害対策課	P 64
避難行動要支援者事業	福祉政策課	P 64
災害ボランティアネットワーク事業	市民連携推進課	P 64
自主防災組織リーダー育成事業	災害対策課	P 64
自主防災組織育成事業	災害対策課	P 64

(2) 市民アンケートの結果

【設問】激甚化する自然災害から市民の生命と財産が守られるよう、地域防災の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 14位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

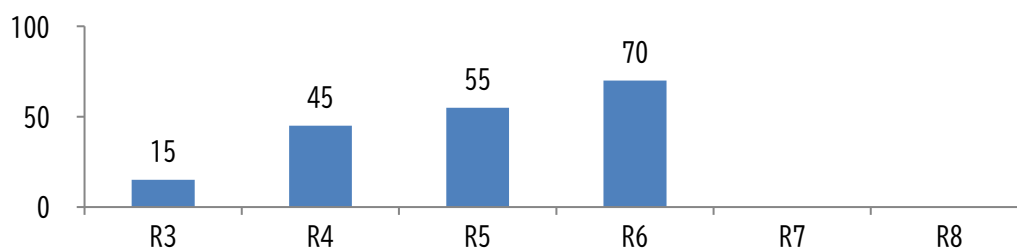
(3) 進行管理指標の動向

①地区防災訓練の実施件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：地区防災訓練の実施件数

(単位：件)

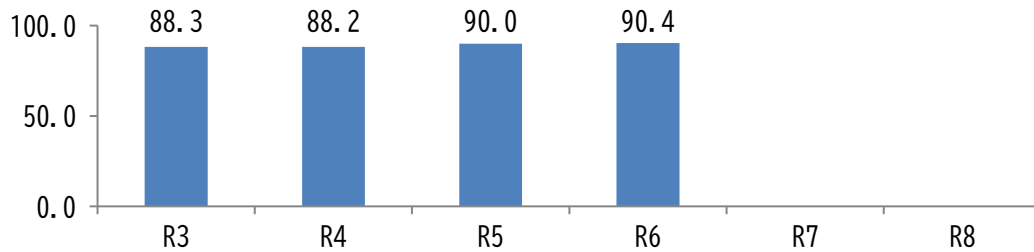


②自主防災組織の活動カバ―率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：自主防災組織の活動カバ―率

（単位：％）

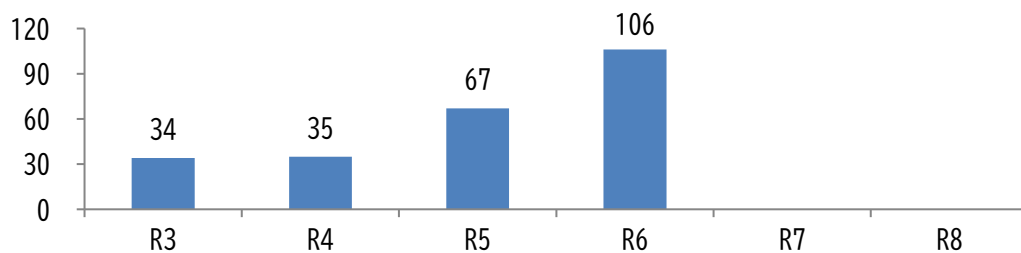


③避難行動要支援者※の支援に関する協定締結数（累計）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：町内会や自主防災組織などと避難行動要支援者の支援に関する協定を締結した累計件数

（単位：件）



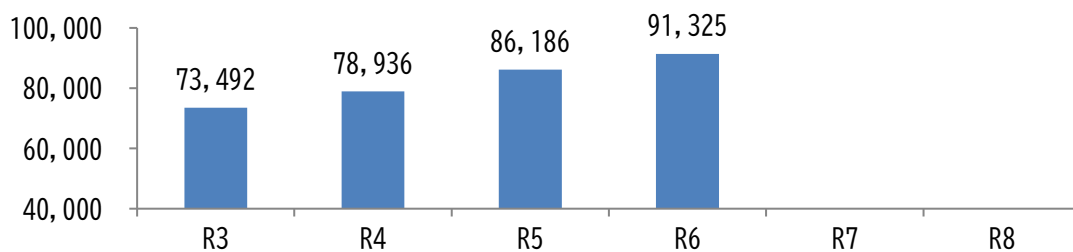
※国の呼称に合わせ、「災害時要援護者」について名称を変更したもの。

④安全・安心情報発信サービス（ほっとスルメール）の登録件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：安全・安心情報発信サービス（ほっとスルメール）の登録件数

（単位：件）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 全国各地の自然災害等によって、地域住民の防災意識や自主防災組織の重要性が再認識されたことに加え、助成金制度の継続によって、地区防災訓練の実施件数は増加傾向にあり、自主防災組織の活動カバー率も高水準を維持していることから、引き続き、防災関係機関や地域住民と連携し、大規模災害に備えた防災訓練を行っていく。
- 避難行動要支援者の支援に関する協定については、地域において要支援者を支援する体制づくりへの理解が深まるとともに、個別避難計画の作成を契機に、新たに社会福祉法人等と協定を締結したことから、避難行動要支援者の支援に関する協定の締結数が増加している。
- ほっとスルメールの登録件数は、全体として増加傾向にあり、防災意識の向上が図られているものと推察される。
- 防災教室支援事業について、毎年要望があった小中学校で防災教室を実施しており、児童生徒の防災意識の醸成につなげている。
- 緊急浚渫推進事業について、令和4年度から計画的に事業を進めているほか、市道冠水被害対策事業について、事業計画路線である市道八戸駅前通線が令和6年度をもって完了するなど、計画的に順調に事業を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策２．消防・救急体制の充実

目 指 す 姿	・火災や事故、傷病者の発生時に迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が確立している。 ・市民や事業者防火・救命に関する知識が浸透し、消防団への加入者が増え、地域において火災や事故に備えた体制が整っている。
施策の内容	ハードとソフト両面での消防・救急・救助体制の充実に取り組むとともに、市民や事業者の防火意識の醸成を図ります。また、消防団員の確保など消防団の充実を図ります。

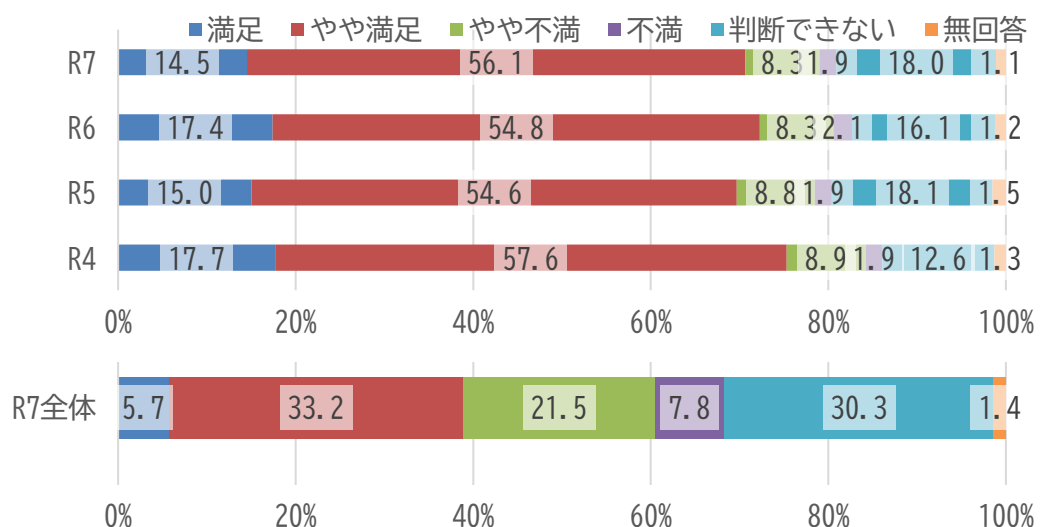
（１）施策を推進するための事務事業

（９事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
消防車両等整備事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
消防防災施設整備事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
救急救命士養成事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
防火対象物予防査察事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
救命講習会事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
緊急消防援助隊合同訓練（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
防火防災意識普及啓発事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
消防団車両等整備事業	災害対策課	P 66
消防団員加入促進事業	災害対策課	P 66

（２）市民アンケートの結果

【設問】火災や事故、傷病者の発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、消防・救急体制の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 2位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

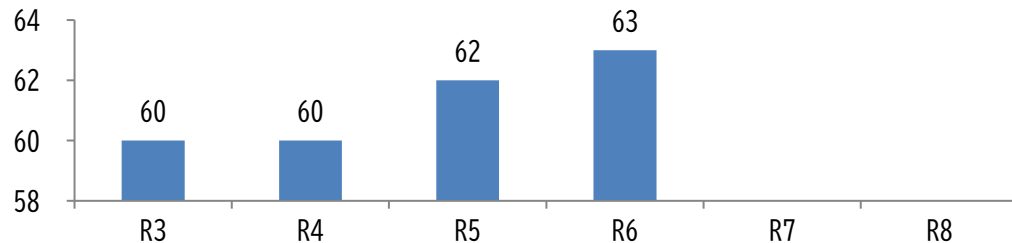
(3) 進行管理指標の動向

①耐震性防火水槽の設置数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内の耐震性防火水槽の設置数

(単位：基)

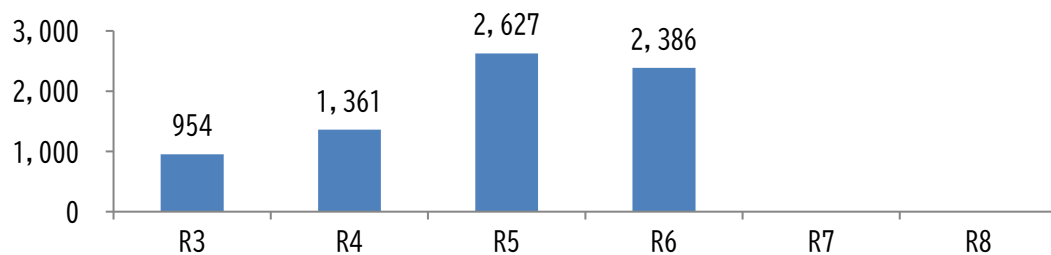


②救命講習会の受講者数

資料：八戸消防本部（各年度集計）

指標の定義：普通救命講習Ⅰ～Ⅲ及び上級救命講習を受講した人数

(単位：人)

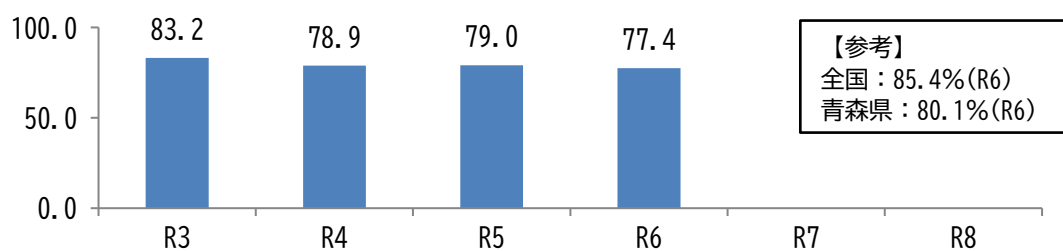


③消防団員の充足率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：条例定数に対する消防団員の充足率

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 救命講習会については、公募による講習会開催や WEB を活用した時間短縮を図るなど受講機会を増やす取組を進めてきたが、受講者数が減少したことから、令和7年度はさらに受講機会を増やすため、同講習会を土日にも開催できるようにするなど、受講者の増加に向けて取組を進めていく。
- 消防団員の充足率は、減少傾向にあることから、消防団員の加入者を増やしていくため、今後は継続的な消防団員の加入促進活動と合わせて消防団の組織の見直しを進め、充足率の向上に努めるとともに、安全安心な消防体制の充実を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策３．防犯対策の充実

目指す姿	・犯罪が起こりにくい、犯罪を起こしにくい環境で安心して暮らすことができる。
施策の内容	町内会や教育機関、事業者、警察、防犯関係団体との連携を強化するとともに、ＬＥＤ防犯灯の設置促進など地域における防犯体制の充実を図ります。

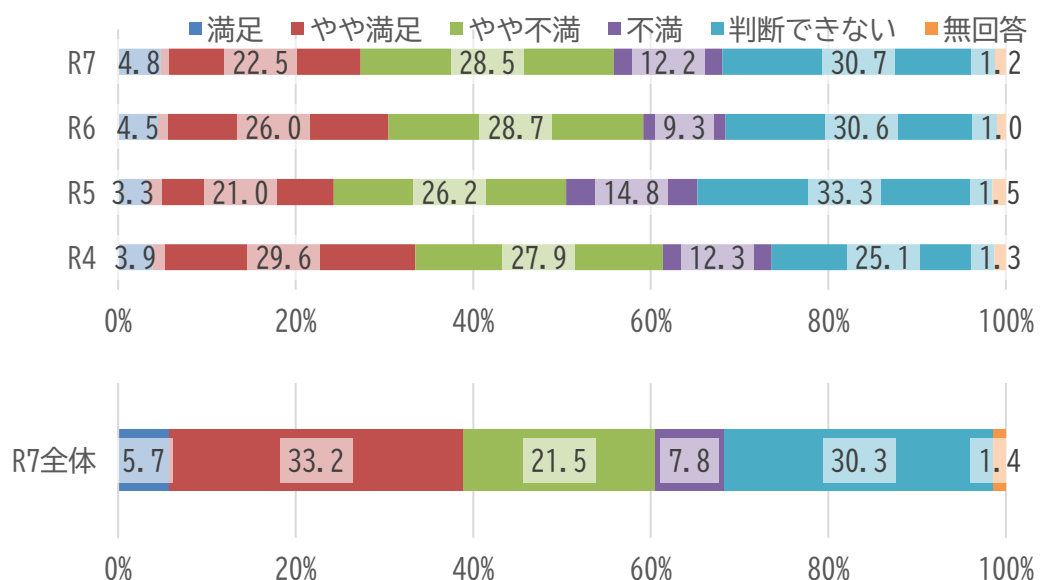
（１）施策を推進するための事務事業

（４事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
安全・安心まちづくり推進協議会推進事業	くらし交通安全課	P 66
防犯対策事業	くらし交通安全課	P 66
ＬＥＤ防犯灯整備助成事業	道路維持課	P 66
八戸市防犯灯ＬＥＤ化エスコ事業	道路維持課	P 66

（２）市民アンケートの結果

【設問】市民が犯罪の少ない社会で安心して暮らせるよう、通学路への防犯カメラの設置など、防犯対策の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 47位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

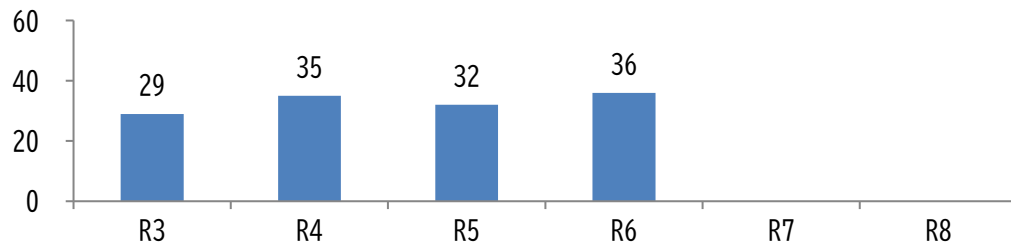
(3) 進行管理指標の動向

①地域安全マップを作成した学校数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：地域安全マップを作成した小学校数

(単位：校)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 地域安全マップの作成校数は増加しているほか、八戸地区連合防犯協会が実施している防犯カメラ設置促進事業に対して補助金を交付しており、令和6年度までに小中学校の通学路を中心に市内で323台の防犯カメラが設置され、防犯環境の向上を図っている。
- 防犯灯については、設置を希望する町内会等に対して、市から助成を行うことで設置数は年々増加しているとともに、平成30年度から導入した防犯灯LED化エスコ事業により、全ての防犯灯を適正に維持管理している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策4. 交通安全対策の充実

目指す姿	・交通ルールが遵守されるとともに、道路や歩道の安全対策が講じられ、交通事故の発生が抑制されている。
施策の内容	市民及び事業者の交通安全に対する意識醸成を図るとともに、通学路における防護柵の設置など安全な交通環境づくりを進めます。

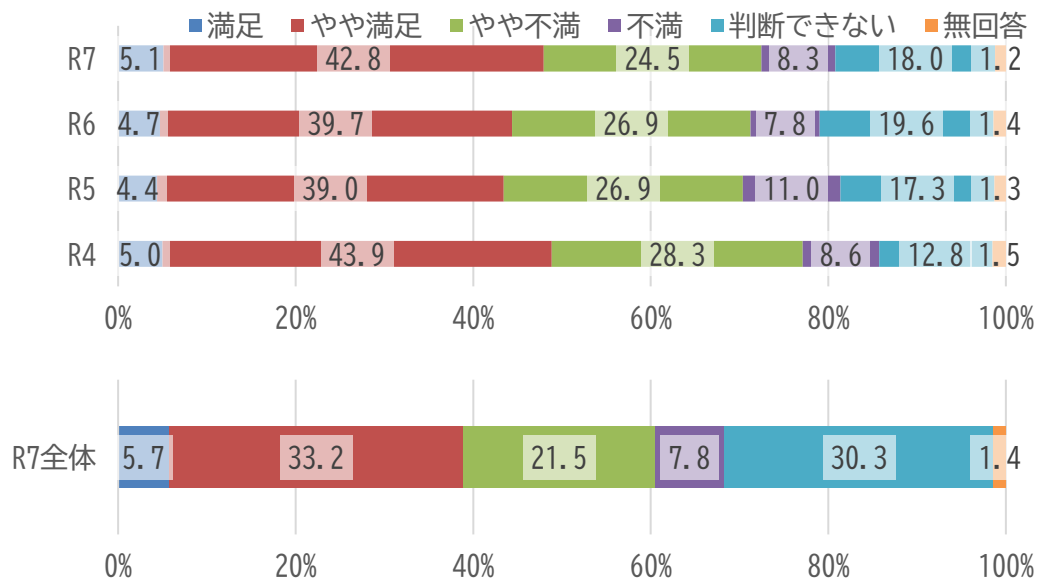
(1) 施策を推進するための事務事業

(4事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
交通事故防止対策事業	くらし交通安全課	P 67
交通災害共済事業	くらし交通安全課	P 67
交通安全施設整備事業	道路維持課	P 67
通学路等区画線設置事業	道路維持課	P 67

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が交通事故の少ない社会で安全に暮らせるよう、交通安全対策の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 20位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

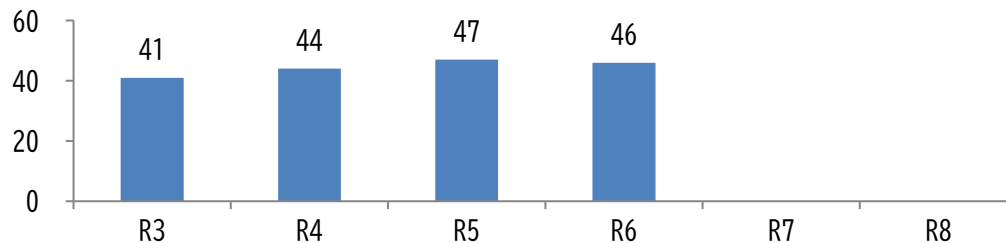
(3) 進行管理指標の動向

①交通安全教室等の開催件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内における交通安全教室・飲酒運転防止講座等の開催件数

(単位：件)

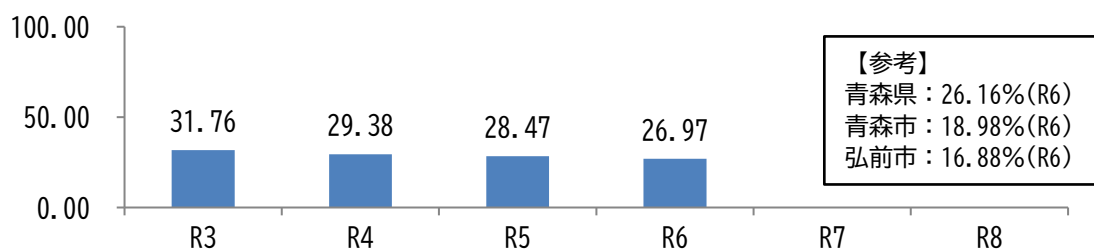


②青森県交通災害共済の加入率

資料：青森県交通災害共済組合（各年度集計）

指標の定義：市内における青森県交通災害共済への加入率

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 交通安全教室等の開催について、令和6年度は新たに八戸警察署等と連携しながら各世代に対応した内容となるよう工夫しながら交通安全教室や飲酒運転防止講座を開催し、交通安全意識の向上につなげた。
- 交通安全施設整備事業について、令和6年度は対象小中学校のうち、12校に対する通学路における白線等の路面標示の引き直し（約26 km）を実施し、児童や生徒の安全を確保する交通環境整備を計画的に進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策5. 消費生活の安心確保

目指す姿	・消費者トラブルに巻き込まれないよう、市民が消費者として適切に判断して生活している。 ・万が一トラブルに見舞われても、すぐに相談し、必要な支援を受けられる環境が整っており、市民が安心して暮らすことができる。
施策の内容	消費生活に関する情報提供や相談・支援体制の充実を図るとともに、生活再建の支援に取り組みます。

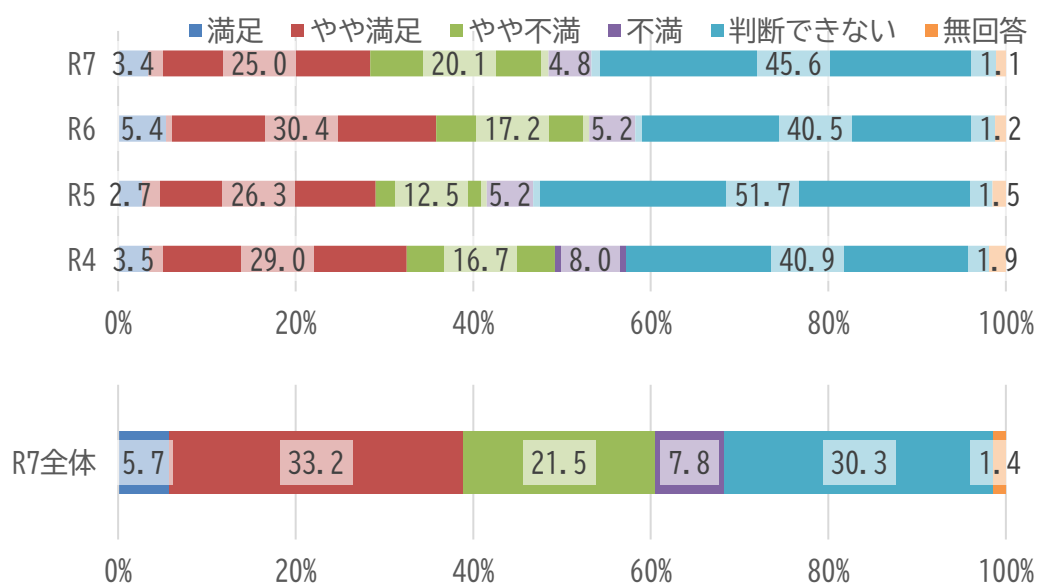
(1) 施策を推進するための事務事業

(7事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
消費者講座開催事業	くらし交通安全課	P 67
消費生活情報提供事業	くらし交通安全課	P 68
市民生活相談事業	くらし交通安全課	P 68
消費生活相談事業	くらし交通安全課	P 68
生活再建相談事業	くらし交通安全課	P 68
債務整理資金・生活再建資金貸付事業	くらし交通安全課	P 68
消費者アシスト隊員養成・フォローアップ事業	くらし交通安全課	P 68

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が安心して消費活動を行い、万が一消費者トラブルに見舞われても必要な支援を受けられるよう、消費生活の安心確保が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 30位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

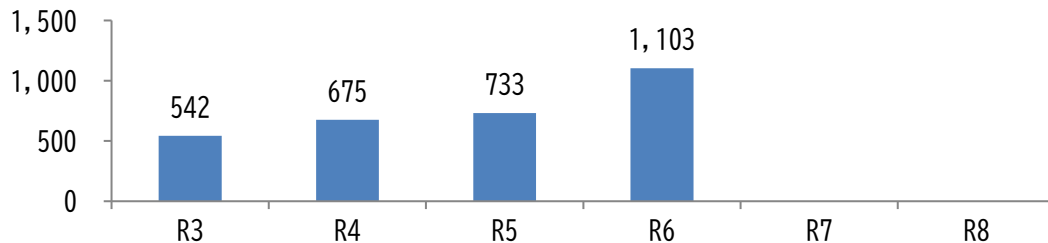
(3) 進行管理指標の動向

①消費者講座の受講者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：消費者講座の受講者数

(単位：人)

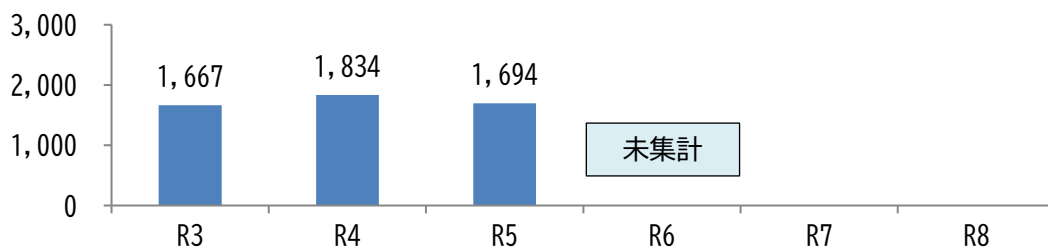


②消費生活相談件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：消費生活に関する相談件数

(単位：件)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 消費者講座については、消費者トラブル等の社会のニーズに合わせた講座を行っており、特に若年者を対象とした出前講座の開催回数と1回あたりの参加者数が増加傾向となっていることから、今後も社会のニーズを捉えて、消費生活に関する効果的な情報発信を図っていく。
- 消費生活相談については、個別の相談に適切に対応できる体制を維持しており、市内だけではなく圏域全体の消費生活に関する知識の向上及び消費者被害の未然防止を図っている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

■ 施策の方向性Ⅲ 健康を守る

施策1. 健康づくりの推進

目指す姿	・市民の健康意識が向上し、市民自らがライフステージに応じた健康づくりに取り組み、早世が減少し、健康寿命が延伸している。
施策の内容	市民の健康意識の醸成や健康相談体制の充実を図るとともに、市民の健康づくり活動の支援に取り組みます。

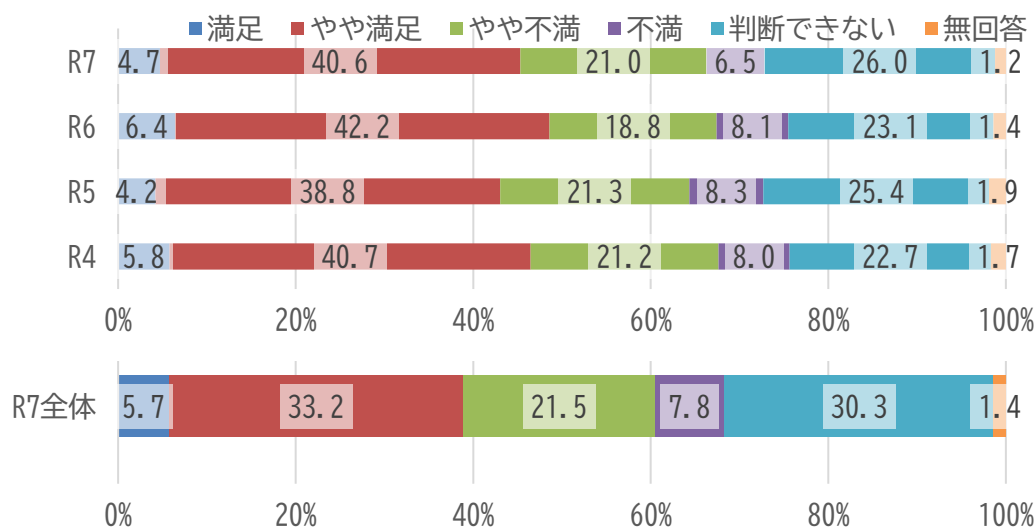
(1) 施策を推進するための事務事業

(11 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
健康意識啓発事業	健康づくり推進課	P 69
自殺対策推進事業	保健予防課	P 69
健康まつり開催事業	国保年金課	P 69
国民健康保険周知事業	国保年金課	P 69
後期高齢者医療制度周知事業	国保年金課	P 69
健康教育事業（成人）	健康づくり推進課	P 69
健康はちのへ 21 ポイントアプリ事業	健康づくり推進課	P 69
性と健康のセンター事業	すくすく親子健康課	P 70
健康相談事業（成人）	健康づくり推進課	P 70
健康づくり団体等活動支援事業	健康づくり推進課	P 70
給食施設栄養管理指導事業	健康づくり推進課	P 70

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民がそれぞれのライフステージに応じた健康づくりに取り組み、健康寿命が延伸するよう、健康づくりが推進されている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 16位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

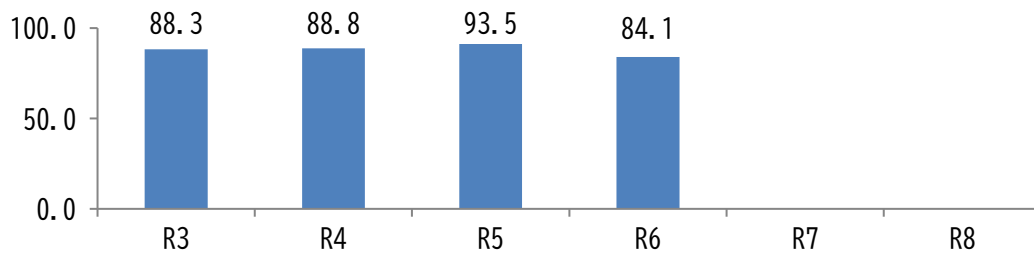
(3) 進行管理指標の動向

①市民健康づくり講座のアンケート結果(「講座内容が自分の生活に活かせる」と答えた人の割合)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市民健康づくり講座のアンケート結果「講座内容が自分の生活に活かせる」と回答した割合

(単位：%)

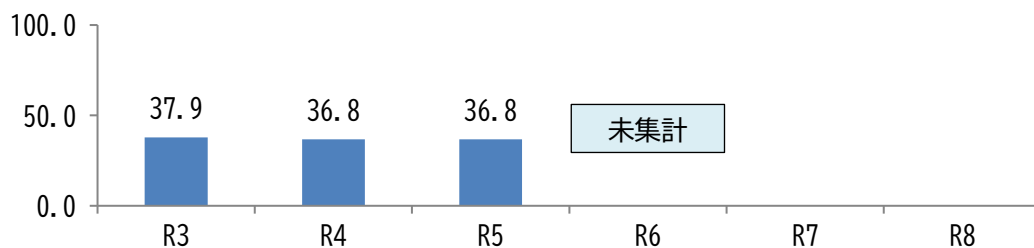


②運動習慣者の割合

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している特定健康診査を受診した 40～74 歳の運動習慣者の割合

(単位：%)

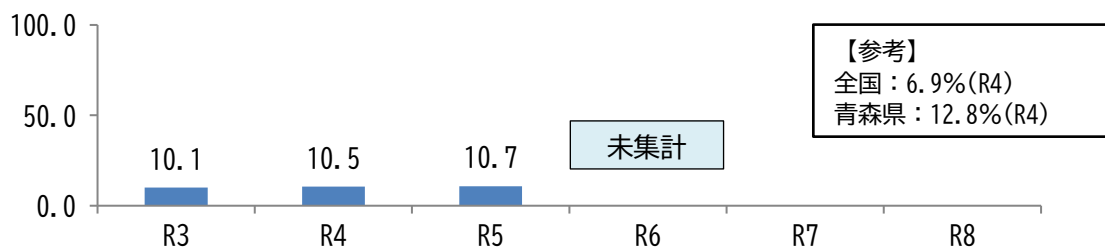


③各種がん検診の受診率（胃がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 50 歳以上を対象としたがん検診の受診率

(単位：%)

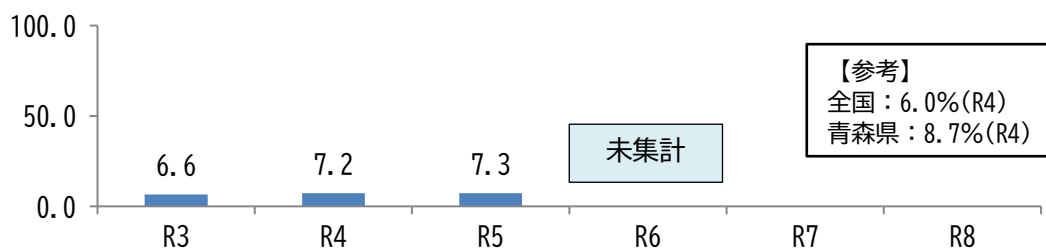


④各種がん検診の受診率（肺がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 40 歳以上を対象としたがん検診の受診率

（単位：％）

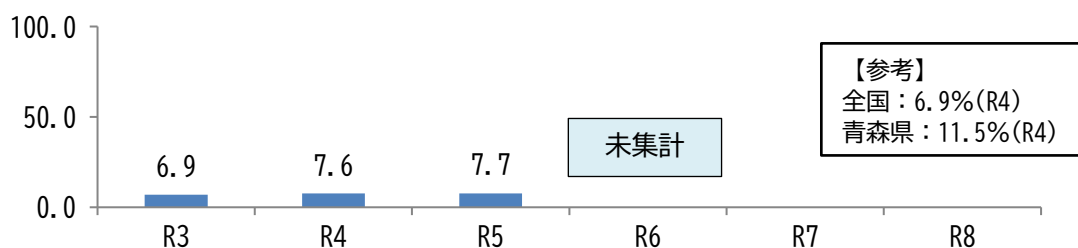


⑤各種がん検診の受診率（大腸がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 40 歳以上を対象としたがん検診の受診率

（単位：％）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

（自己評価の理由）

- ・ 自殺対策推進事業については、第２期いのち支える八戸市自殺対策計画を策定したほか、自殺予防講演会の開催等による普及啓発や、ゲートキーパー研修の実施による人材育成に引き続き取り組んだ。
- ・ 市民健康づくり講座は令和６年度から事前予約不要となり、会場を総合保健センターとしたことから、前年度に比べて参加者は増加している。周知については、チラシやポスターの配布のほか、新聞やデジタルサイネージ、dボタン広報、各種 SNS 等による周知のほか、令和６年度からはポスターの配布先をさらに拡大した。
- ・ また、市民が講座内容についてより理解を深めていただくため、講演資料を参加者へ配布しており、講座のアンケート結果の「講座内容が自分の生活に活かせる」割合は堅調に推移している。
- ・ 令和４年度より「健はちプラス+」の運用を開始し、市民が気軽に楽しく健康づくりに取り組む機会の醸成に努めているが、利用者数は横ばいで推移していることから、今後は利用者の増加や利用者のモチベーションアップに資する取組を検討していく必要がある。

- 当市のがん健診受診率は全国平均よりは高いが、県内平均では低い傾向にあるため、「健診だより」でがん検診受診の必要性を訴えていくとともに、未受診者に対する受診推奨策を取り入れ、受診率の向上に努めている。
- 一方で、指標である受診率は、低水準となっていることから、市内の施設ごとで把握している受診率について、デジタルの力を活用する等、市内全体の受診率の動向を確認したうえで、受診率向上に向けた取組を検討できるような環境を整える必要がある。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策２．疾病予防・重症化予防の推進

目 指 す 姿	・がんや生活習慣病、感染症などの疾病予防・重症化予防が図られ、早期の治療、感染症のまん延防止につながっている。
施策の内容	健康診査・検診や各年代に応じた各種予防接種を実施するとともに、市民に対する受診促進を図ります。また、国や県、関係機関との連携により、感染症のまん延防止体制の強化を図ります。

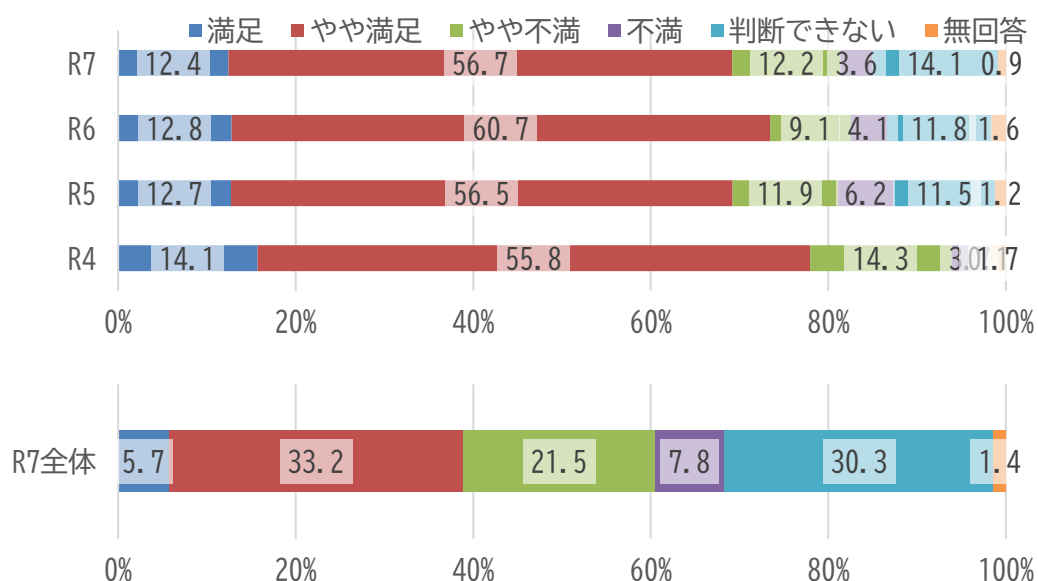
（１）施策を推進するための事務事業

（27 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
がん検診事業	健康づくり推進課	P 70
歯周病検診事業	健康づくり推進課	P 70
乳幼児予防接種事業	保健予防課	P 71
高齢者予防接種事業	保健予防課	P 71
国保人間ドック事業	国保年金課	P 71
国保特定健診及び特定保健指導事業	国保年金課	P 71
医療費適正化対策事業	国保年金課	P 71
後期高齢者健診事業	国保年金課	P 71
狂犬病予防対策事業	衛生課	P 71
成人健康診査事業	健康づくり推進課	P 71
任意予防接種事業	保健予防課	P 72
がん検診推進補助事業	健康づくり推進課	P 72
感染症予防事業	保健予防課	P 72
難病患者相談事業	保健予防課	P 72
精神保健福祉相談等事業	保健予防課	P 72
後期高齢者人間ドック事業	国保年金課	P 72
後期高齢者歯科口腔健康診査事業	国保年金課	P 72
結核予防事業	保健予防課	P 72
特定感染症検査等事業	保健予防課	P 73
生活習慣病の発症予防及び早期発見・重症化予防推進事業	国保年金課	P 73
後期高齢者保健指導事業	国保年金課	P 73
ピロリ菌対策事業	健康づくり推進課	P 73
受動喫煙防止対策事業	健康づくり推進課	P 73
市民へのフォローアップ推進事業	保健総務課	P 73
保健所機能強化事業	保健予防課	P 73
成人訪問指導事業	健康づくり推進課	P 74
国保特定健診及び特定保健指導事業	国保年金課	P 74

(2) 市民アンケートの結果

【設問】健康診査やがん検診、各種予防接種の実施、感染症のまん延防止体制の強化など、疾病予防・重症化予防が推進されている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 6位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

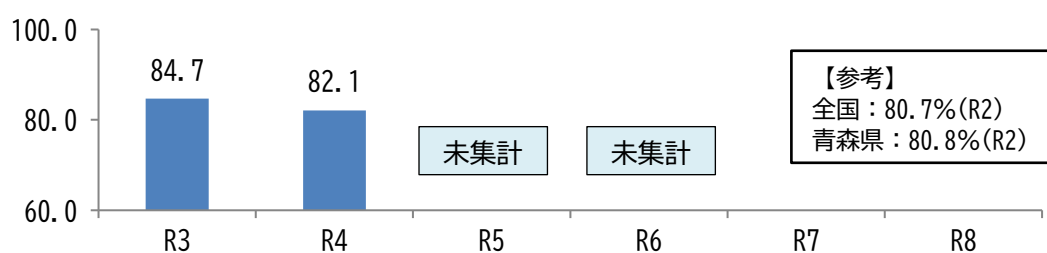
(3) 進行管理指標の動向

①各種がん検診精密検査の受診率（胃がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している40歳以上を対象としたがん検診の精密検査受診率

(単位：%)

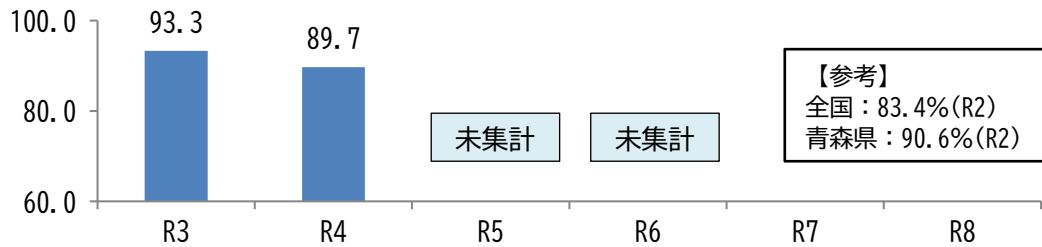


②各種がん検診精密検査の受診率（肺がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 40 歳以上を対象としたがん検診の精密検査受診率

（単位：％）

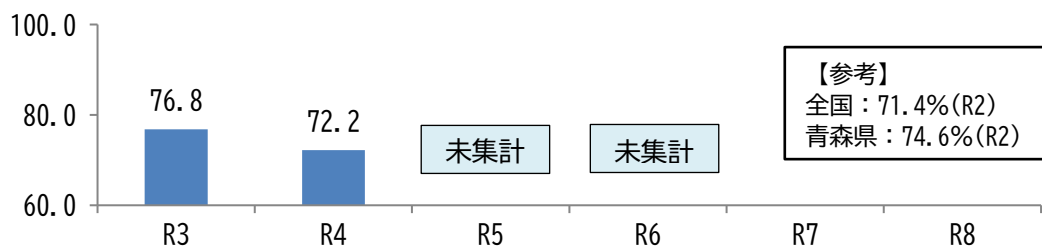


③各種がん検診精密検査の受診率（大腸がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 40 歳以上を対象としたがん検診の精密検査受診率

（単位：％）

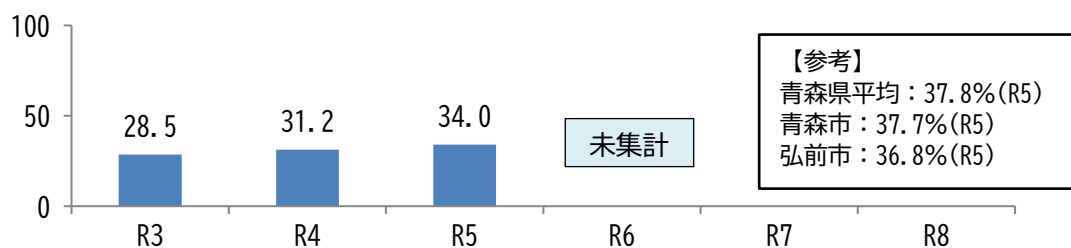


④国保特定健康診査の受診率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：国保特定健康診査（国保人間ドック含む）受診率

（単位：％）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 保健所機能強化事業では、次なる感染症危機に備えるため、保健所職員を対象とした訓練や県の研修会へ参加し、人材の養成に努めるとともに、検査機関と検査措置協定を締結するなど、検査体制の強化を図っている。
- 国保特定健康診査の受診率においては、未受診者の健診受診歴や医療機関通院状況に合わせた推奨内容としたほか、若年層向けに動画共有サイトに遷移する二次元コードを記載するなど、推奨内容にさらに工夫を加えた結果、最新の公表数値である令和5年度は制度開始以降最も高い受診率となっている。
- 令和6年度からは、精密検査費の一部を助成する事業を開始したことから、当該事業の実施により精密検査受診率の向上及びがんの早期発見・早期治療を促進し、がんによる死亡者の減少を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↓

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策3. 地域医療の充実

目指す姿	・高度な医療体制の構築が図られ、市民が必要な時に必要な医療を受けられる環境が確保されている。
施策の内容	医療従事者の確保や医療環境の整備、ドクターヘリやドクターカーの効果的な運用による地域医療体制及び救急医療体制の充実を図ります。

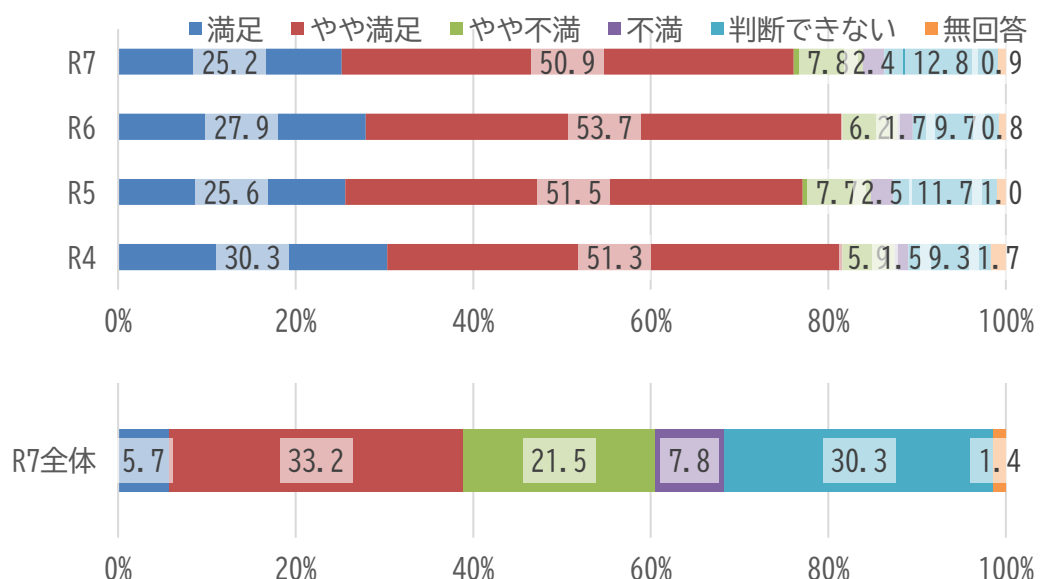
(1) 施策を推進するための事務事業

(12 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
医師確保対策事業	保健総務課	P 74
看護師等修学資金貸与事業	保健総務課	P 74
献血・骨髄移植ドナー普及促進事業	保健総務課	P 75
看護師養成事業	高等看護学院	P 75
医師派遣事業	保健総務課	P 75
総合的ながん対策事業	市民病院	P 75
高度医療従事者育成支援事業	保健総務課	P 75
がん患者医療用補整具購入費助成事業	健康づくり推進課	P 75
市民病院給食食材費等高騰対策支援事業	市民病院	P 75
救急医療体制整備事業	保健総務課	P 75
ドクターカー運行事業	保健総務課	P 76
A E D普及促進事業	保健総務課	P 76

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が必要な時に必要な医療が受けられるよう、ドクターヘリやドクターカーの運用や、医療従事者の確保など、地域医療の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 1位／全55問

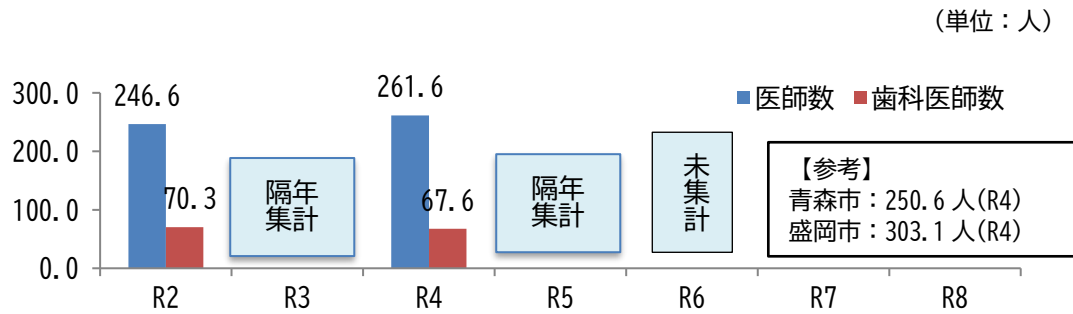
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①人口 10 万人当たりの医師数・歯科医師数

資料：厚生労働省（隔年集計）

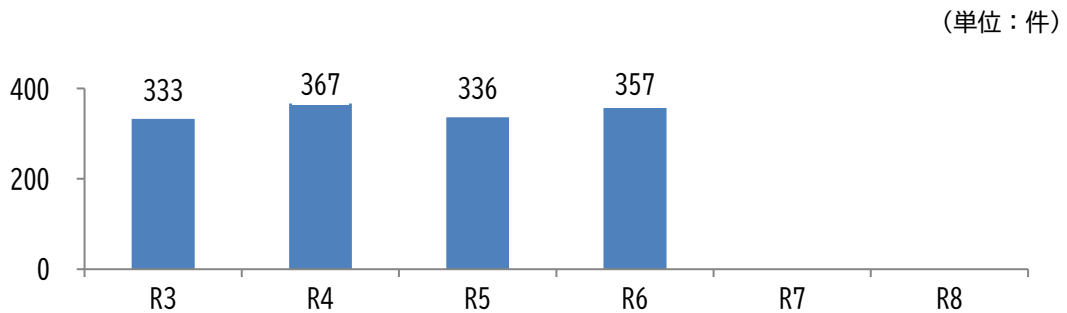
指標の定義：人口 10 万人当たりの医師・歯科医師数（隔年集計）



②ドクターヘリの出動件数

資料：八戸市（各年度集計）

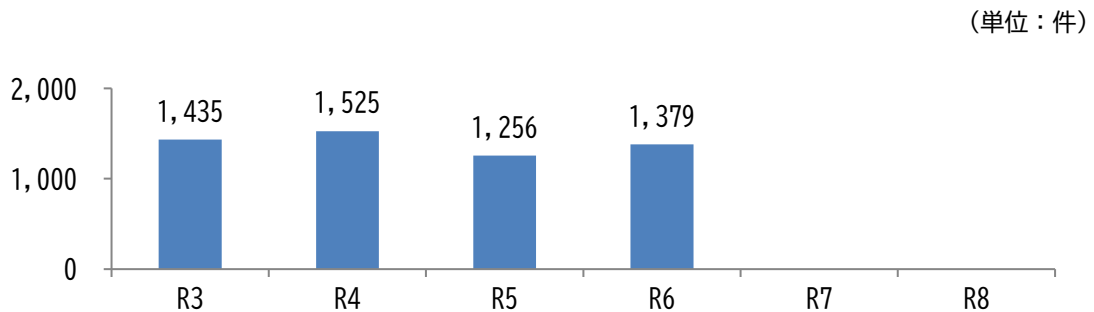
指標の定義：消防の要請により出動したドクターヘリの出動件数



③ドクターカーの出動件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：消防の要請により出動したドクターカーの出動件数



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

a. 非常に順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 満足度について、満足・やや満足を合計した割合が平均に比べて高い傾向にある。
- 令和6年度から拡充された県が実施する弘前大学医師修学資金支援事業への支援や、市が実施する看護師等修学資金貸与事業により、医療従事者の確保及び定着が図られているとともに、高度医療従事者育成支援事業により市民病院救命救急センター及び地域周産期母子医療センターの医師、看護師の医療技術の向上を図っている。
- ドクターヘリやドクターカーは、救急処置開始までの時間短縮により救命率の向上に大きく貢献しているほか、応需率は高水準を維持している。
- 休日夜間急病診療所などの一次救急、病院群輪番制の二次救急、市民病院救命救急センターの三次救急からなる医療の提供や、連携中枢都市圏市町村、市民病院との連携によるドクターカーの運行、医師派遣事業の実施などにより地域医療体制及び救急医療体制の充実を図っている。
- AED 普及促進事業において、令和6年度は AED 講習会を計画どおり2回実施することができた。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ー↓

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

（６）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

<基本的な考え方>

地域社会は、年齢や性別、国籍の違い、障がいの有無など、多様な人々の集まりで構成されており、誰もが自分らしく暮らしていくためには、相互の理解や受容に加え、地域での支え合いや充実した社会保障制度により、「ともに生きる社会」を構築していくことが重要です。

これまで、当市では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、地域福祉や高齢者・障がい者の自立支援や社会保障の充実を図るとともに、地域コミュニティの振興に取り組んできました。

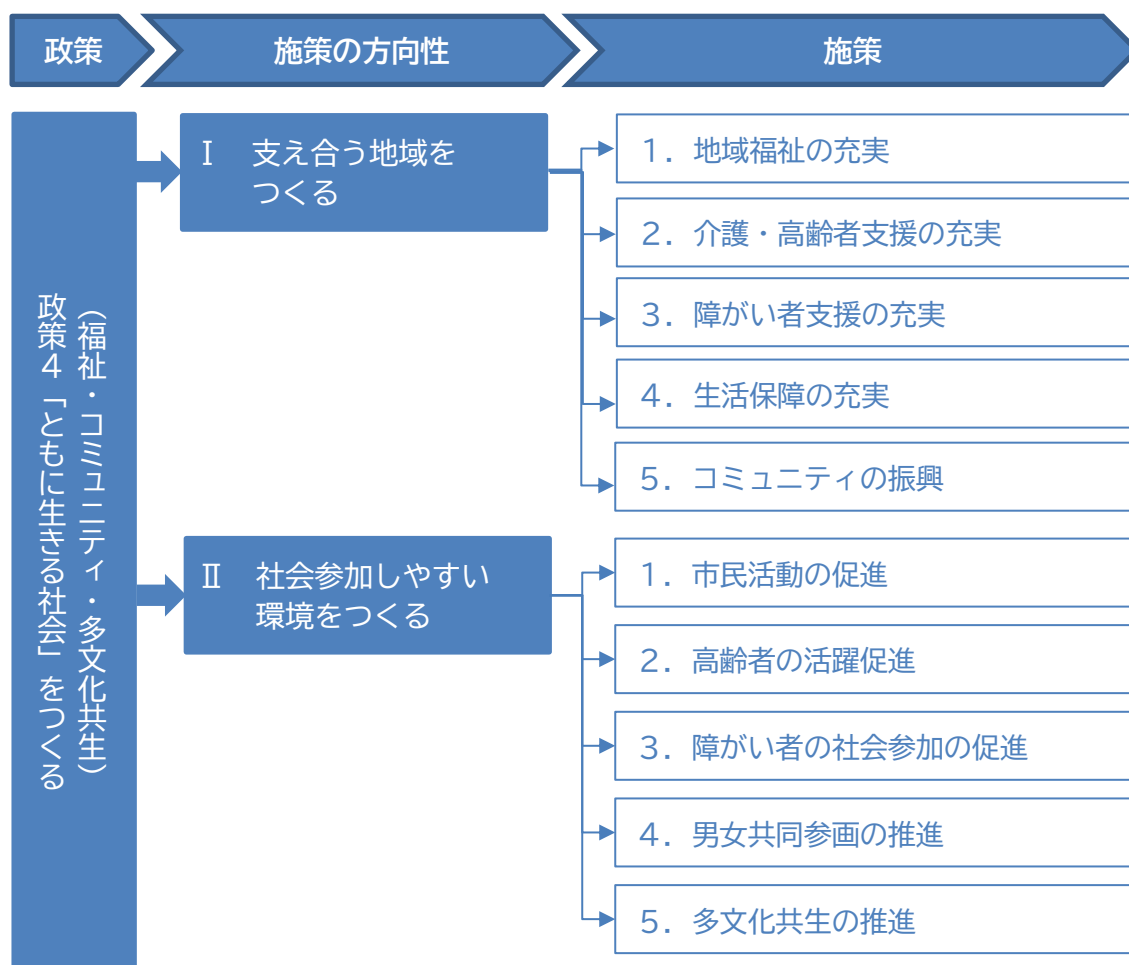
また、市民自らが主体となって個性豊かな地域づくりを進めることができるよう、市民活動の促進を図るとともに、高齢者や障がい者が生涯にわたって生きがいのある生活を送ることができるよう、社会参加のための環境づくりを進めてきました。

さらに、誰もが性別にかかわらず、自らの意思と選択に基づいて自分らしく生きることができるよう、男女共同参画を推進するとともに、外国人住民が地域社会で快適に暮らしていけるよう、地域における異文化理解の促進に取り組んできました。

こうした中、国では、近年の高齢化や人口減少の進行、核家族化の進展を背景に、社会とのつながりや住民同士の関係の希薄化が進む中で、高齢者や障がい者などあらゆる人々が生きがいを持って自分らしく共に暮らし続けることができるよう、人と人、人と社会がつながり支え合う社会の実現を目指しており、当市においても、地域で暮らす人々は誰もが支え・支えられるものという考えのもと、全ての市民が支え合いながら自分らしく活躍できる地域社会をつくる必要があります。

このようなことから、当市では、地域福祉や介護・高齢者支援、障がい者支援、生活保障の充実やコミュニティの振興を図り、地域全体で支え合う地域づくりに取り組むとともに、誰もが社会参加しやすい環境をつくるため、市民活動の促進や高齢者の活躍促進、障がい者の社会参加の促進、男女共同参画や多文化共生の推進を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性Ⅰ 支え合う地域をつくる

施策１．地域福祉の充実

目指す姿	・全ての市民が相手に対するいたわりの気持ちを持ちながら、安心して自立した生活ができており、地域における福祉活動が活発に行われている。
施策の内容	地域の見守り活動を促進するとともに、地域福祉の担い手の育成・支援や地域福祉に関する市民意識の醸成を図ります。

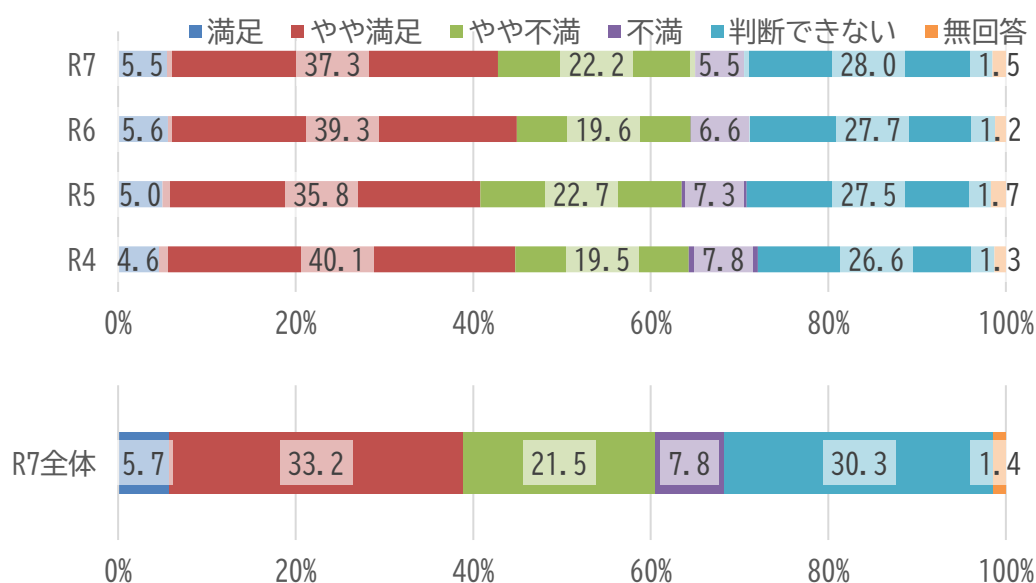
(１) 施策を推進するための事務事業

(７事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
地域の安心・安全見守り活動推進事業 (高齢者・障がい者等)	福祉政策課	P 77
ほのぼのコミュニティ 21 推進事業	福祉政策課	P 77
民生委員児童委員育成事業	福祉政策課	P 77
社会福祉協議会支援事業	福祉政策課	P 77
福祉バス運営事業	福祉政策課	P 77
福祉出前講座事業	福祉政策課	P 78
心のバリアフリー推進事業	福祉政策課	P 78

(２) 市民アンケートの結果

【設問】市民が安心して自立した生活を送ることができるよう、地域の見守り活動の促進など、地域福祉の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 17位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

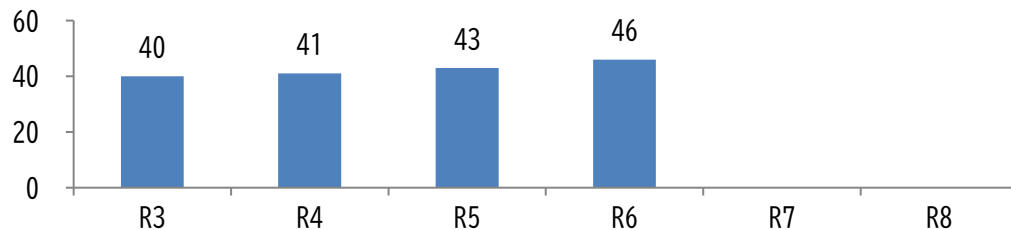
(3) 進行管理指標の動向

①地域の安心・安全見守り事業の協力事業者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：地域の安心・安全見守り事業の協力事業者数

（単位：事業者）

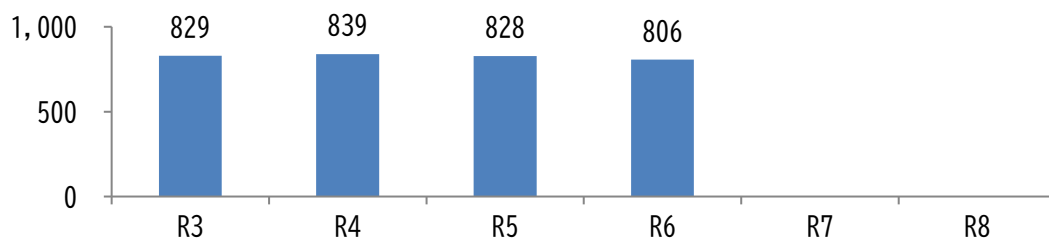


②ほのぼのコミュニティ 21 推進事業における ほのぼの交流協力員数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：ほのぼのコミュニティ 21 推進事業におけるほのぼの交流協力員数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 指標①では、地域の安心・安全見守り活動推進事業において、1 事業所が撤退したものの、新たに 4 事業所と「地域の安心・安全見守り協定」を締結し、市民が安心・安全に生活できる体制を構築しており、引き続き、市 LINE 公式アカウントの活用など、見守り活動の円滑化を図っている。
- 指標②では、ほのぼの交流協力員数は減少傾向にあるが、同協力員が行う地域における高齢者等の見守り活動について、対象世帯への訪問活動を維持しているとともに、見守り活動に関する連絡会を計 5 回開催し、体制強化を図っているほか、地域内での見守りの必要性について周知するため、チラシやパンフレットの配布を行うなど、地域福祉の担い手の育成・支援や地域福祉に関する市民意識の醸成を図っている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策２．介護・高齢者支援の充実

目 指 す 姿	・ 高齢者やその家族が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができる。
施策の内容	地域包括ケアシステムの強化を図るとともに、高齢者の介護・認知症予防や権利擁護を推進します。また、医療・介護の連携を推進するとともに、地域の実情に応じた介護サービスの充実や介護保険制度の適正な運営、介護人材の確保及び育成支援に取り組みます。

（１）施策を推進するための事務事業

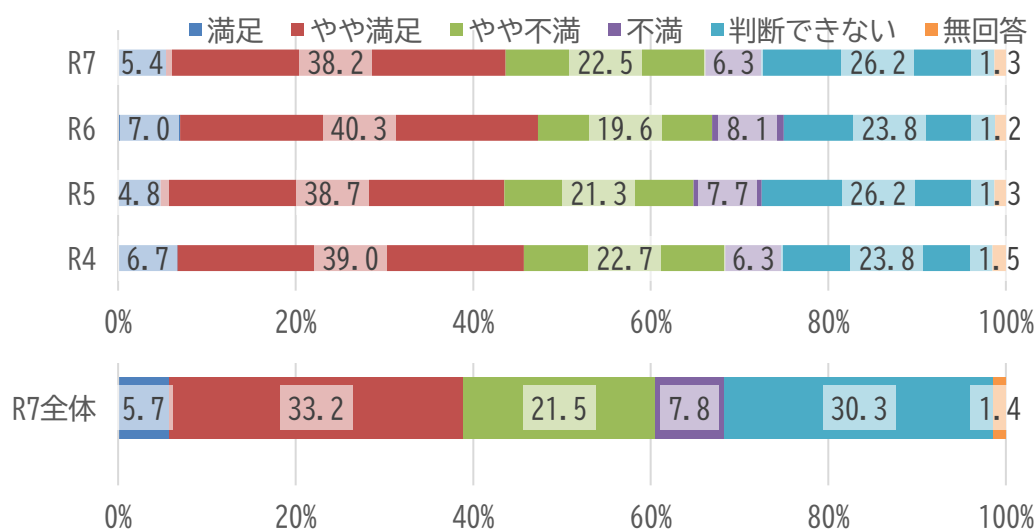
（32 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
成年後見センター事業	高齢福祉課	P 78
高齢者虐待対策事業	高齢福祉課	P 78
地域包括支援センター運営事業	高齢福祉課	P 78
介護予防ケアマネジメント事業	高齢福祉課	P 78
介護予防センター運営事業	高齢福祉課	P 78
介護予防・日常生活支援総合事業	高齢福祉課	P 79
はり・きゅう・あんまマッサージ施術費助成事業	高齢福祉課	P 79
低栄養改善事業	高齢福祉課	P 79
認知症サポーター養成・活動促進事業	高齢福祉課	P 79
市民後見推進事業	高齢福祉課	P 79
高齢者福祉に関する理解促進事業	高齢福祉課	P 80
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	高齢福祉課	P 80
在宅医療介護 ICT 連携推進事業	高齢福祉課	P 80
寝たきり高齢者等介護者慰労金支給事業	高齢福祉課	P 80
老人福祉法の届出受理事業	高齢福祉課	P 80
所管施設の指導・監督事業	高齢福祉課	P 80
軽費老人ホーム運営支援事業	高齢福祉課	P 80
老人福祉施設等整備支援事業	高齢福祉課	P 80
介護保険サービス事業者指導・監督事業	介護保険課	P 81
介護の仕事理解促進事業	介護保険課	P 81
介護業務の革新・業務効率化事業	介護保険課	P 81
救急医療情報キット配付事業	福祉政策課	P 81
緊急通報装置貸与事業	高齢福祉課	P 81
老人日常生活用具給付事業	高齢福祉課	P 81
老人福祉電話設置事業	高齢福祉課	P 81
生活支援ハウス運営事業	高齢福祉課	P 82
寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	高齢福祉課	P 82
障害者控除対象者認定書交付事業	高齢福祉課	P 82
介護保険サービス基盤整備事業	介護保険課	P 82
介護給付適正化事業	介護保険課	P 82

介護保険制度周知事業	介護保険課	P 82
介護支援専門員資格取得・定着支援事業	介護保険課	P 82

(2) 市民アンケートの結果

【設問】高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護・高齢者支援の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 18位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

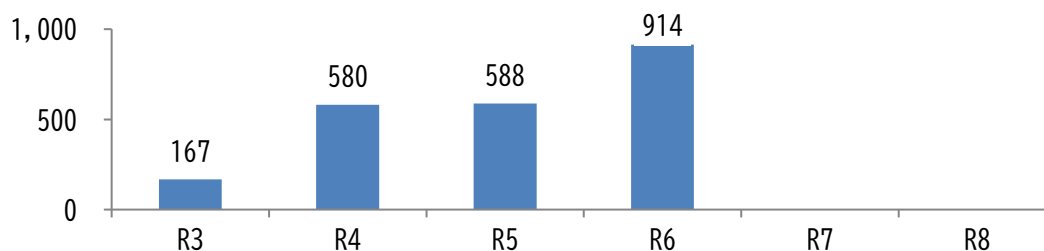
(3) 進行管理指標の動向

① 認知症サポーター養成講座の受講者数

資料：全国キャラバン・メイト
連絡協議会（各年度集計）

指標の定義：認知症サポーター養成講座受講者数

（単位：人）

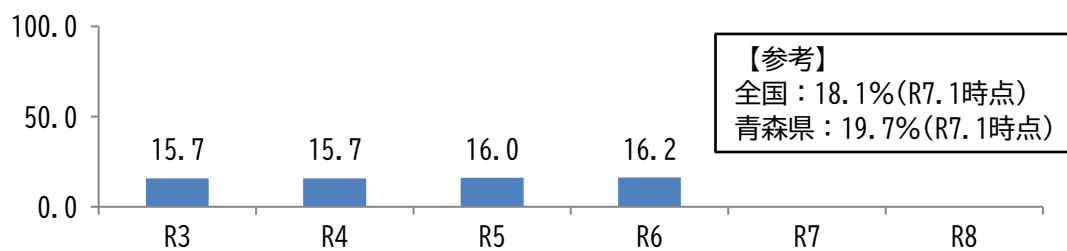


②要介護認定率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：要介護認定率

（単位：％）

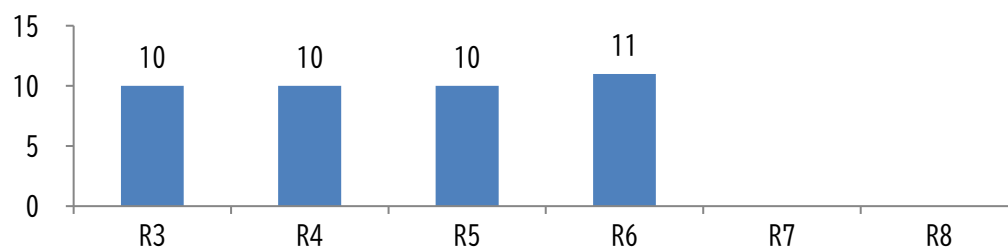


③青森県介護サービス事業所認証評価制度における認証法人数（累計）

資料：青森県（各年度集計）

指標の定義：青森県介護サービス事業所認証評価制度における認証法人数（累計）

（単位：法人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 指標①について、認知症サポーター養成活動促進事業では、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る認知症サポーターを増やすことで、認知症になっても安心して地域で暮らすことができるよう市民の意識向上を図っている。
- また、令和6年度からは地域の高齢者を対象に、心身の状態や介護の必要性に合わせた様々なサービスの更なる提供を図るため、市内事業所に従事する介護支援専門員の更新研修等に対する費用補助を開始しているほか、外国人介護人材受入施設等環境整備事業で、外国人材受入に係る費用補助を行っており、介護支援専門員の確保及び定着に向けた取組を図っている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策３．障がい者支援の充実

目 指 す 姿	・ 障がい者が身近な地域で必要な支援を受けながら、自らの望む生活を送ることができる。
施策の内容	障がいの特性に応じた福祉サービスを提供するとともに、障がい者が安心して暮らせる環境づくりや障がい者の権利擁護を推進します。

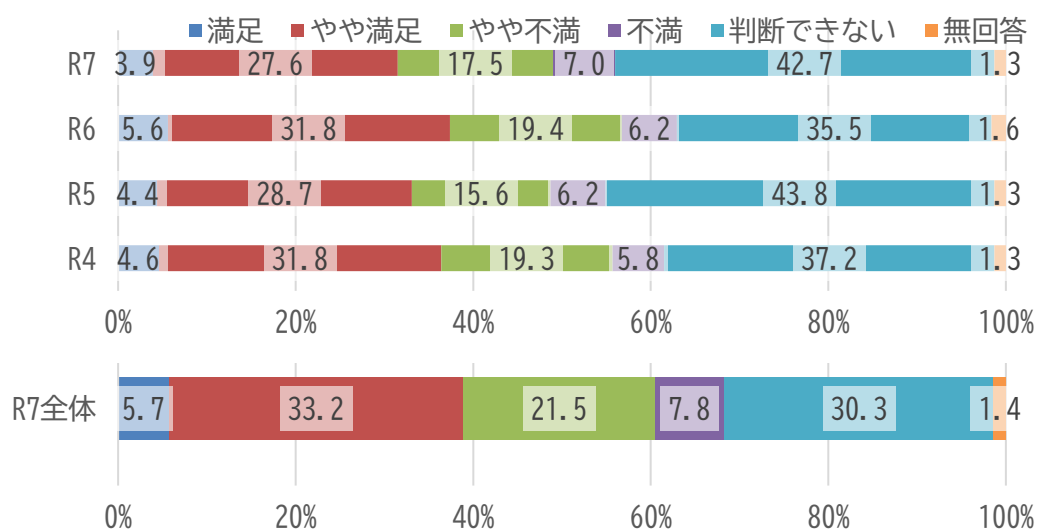
（１）施策を推進するための事務事業

（18 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 ページ
訪問系サービス事業	障がい福祉課	P 83
日中活動系サービス事業	障がい福祉課	P 83
居住系サービス事業	障がい福祉課	P 83
日常生活用具給付事業	障がい福祉課	P 83
自立支援給付事業	障がい福祉課	P 83
障害児通所支援給付等事業	障がい福祉課	P 83
身体障害者手帳交付事業	障がい福祉課	P 83
特別障害者手当給付等事業	障がい福祉課	P 84
重度心身障害者医療費助成事業	障がい福祉課	P 84
障がい者への災害情報等伝達事業	障がい福祉課	P 84
福祉電話基本料金助成事業	障がい福祉課	P 84
障がい者相談支援事業	障がい福祉課	P 84
障害福祉サービス事業者指定等事業	障がい福祉課	P 84
地域生活支援事業	障がい福祉課	P 84
特別児童扶養手当給付等事業	障がい福祉課	P 85
心身障害者扶養共済掛金補給金事業	障がい福祉課	P 85
医療的ケア児等総合支援事業	障がい福祉課	P 85
権利擁護支援事業	障がい福祉課	P 85

(2) 市民アンケートの結果

【設問】障がい者が身近な地域で必要な支援を受けながら、自らの望む生活を送れるよう、障がい者支援の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 24位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

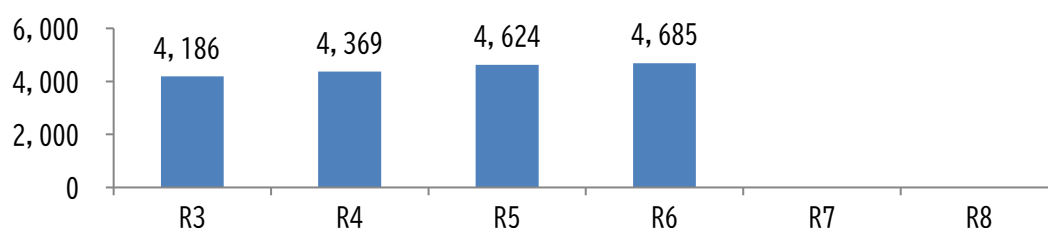
(3) 進行管理指標の動向

①障害福祉サービスの利用者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：障害福祉サービスを利用している障がい者の数

(単位：人)

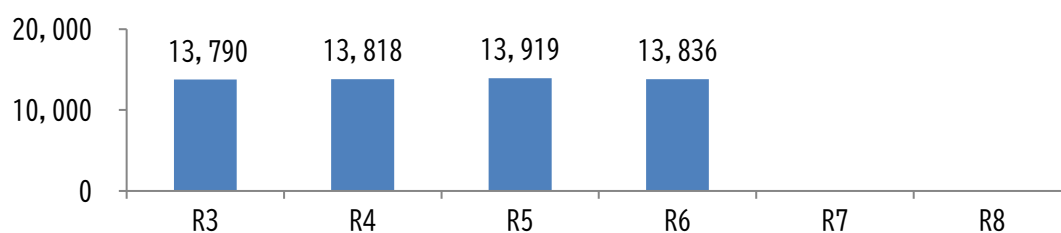


②障害者手帳の所持者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：障害者手帳の所持者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 障害福祉サービス事業所の新規指定を通じて事業所数は年々増加しているほか、訪問系サービス事業や日中活動系サービス等、障がいの特性に応じた福祉サービスを提供し、障がい者が安心して暮らせるよう障害福祉の向上に努めている。
- 医療的ケア児について、保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設けているとともに、令和5年度よりコーディネーターを配置し医療的ケア児とその家族の支援に努めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策４．生活保障の充実

目 指 す 姿	・年金の受給権が確保され、高齢者や障がい者が経済的に安定した生活を送っている。 ・生活困窮世帯が自立した生活を送ることができている。
施策の内容	国民年金制度の理解促進を図るとともに、生活保護制度の適正な実施や生活困窮者を対象とした自立支援を推進します。

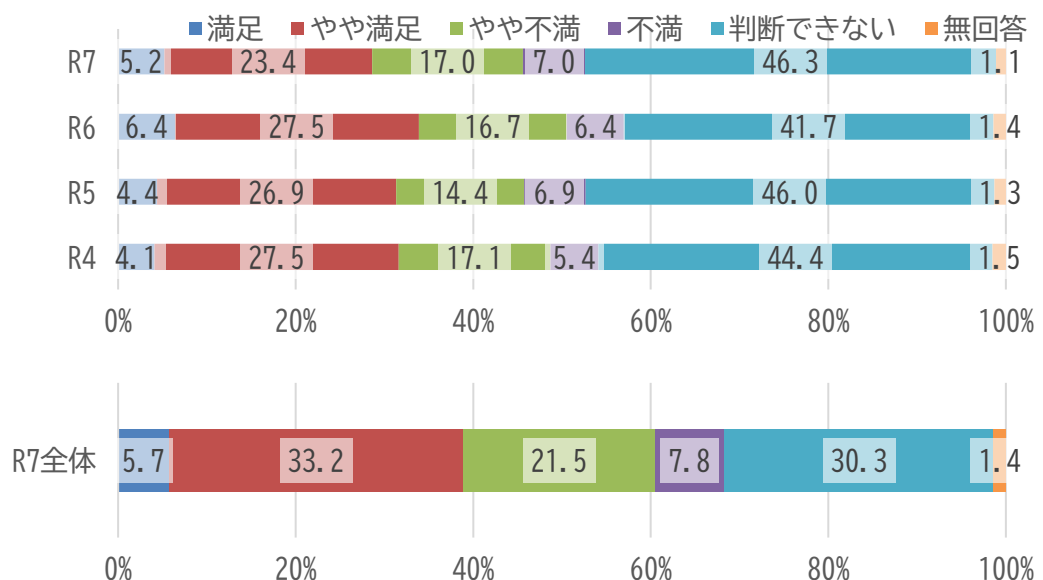
（１）施策を推進するための事務事業

（４事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
年金制度の周知・啓発事業	国保年金課	P 85
生活保護適正化事業	生活福祉課	P 86
生活保護費支給事業	生活福祉課	P 86
生活保護受給者等就労支援事業	生活福祉課	P 86

（２）市民アンケートの結果

【設問】生活困窮世帯への適正な生活支援や自立支援など、生活保障の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 26位／全55問

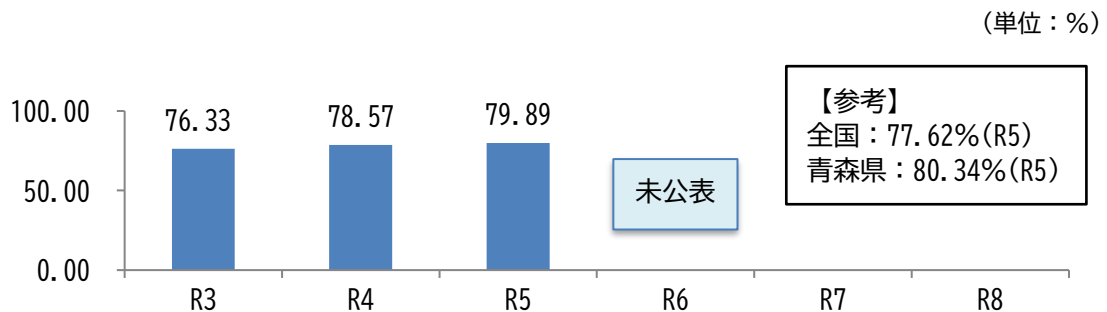
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①国民年金保険料の納付率

資料：八戸年金事務所（各年度集計）

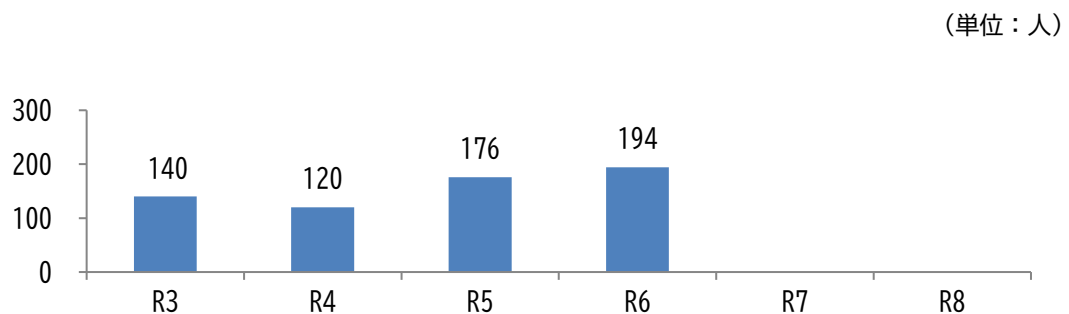
指標の定義：国民年金保険料の納付率



②生活困窮者を対象とした就労支援を受けた就労者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：就労支援を受けて就労した人の人数



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 指標①では、窓口や広報等で納付の必要性の周知に努めており、令和4年度から令和5年度にかけて、納付率が上昇している。
- 指標②では、生活保護受給者等就労準備支援事業について、ハローワークとの連携や就労支援相談員による支援等を活用した結果、就労者数において昨年度を上回っており、生活困窮者を対象とした自立支援の推進に努めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策5. コミュニティの振興

目 指 す 姿	- 多くの市民が、町内会・自治会の活動に参加し、安定した組織運営基盤が構築されている。 - 地域コミュニティ活動が活発化し、安全安心で個性豊かな住み良い地域づくりが進められている。
施策の内容	市民の地域コミュニティ活動に関する意識醸成や地域コミュニティ活動の促進を図ります。また、八戸市連合町内会連絡協議会との連携による町内会・自治会への加入促進や組織強化に向けた取組を推進します。

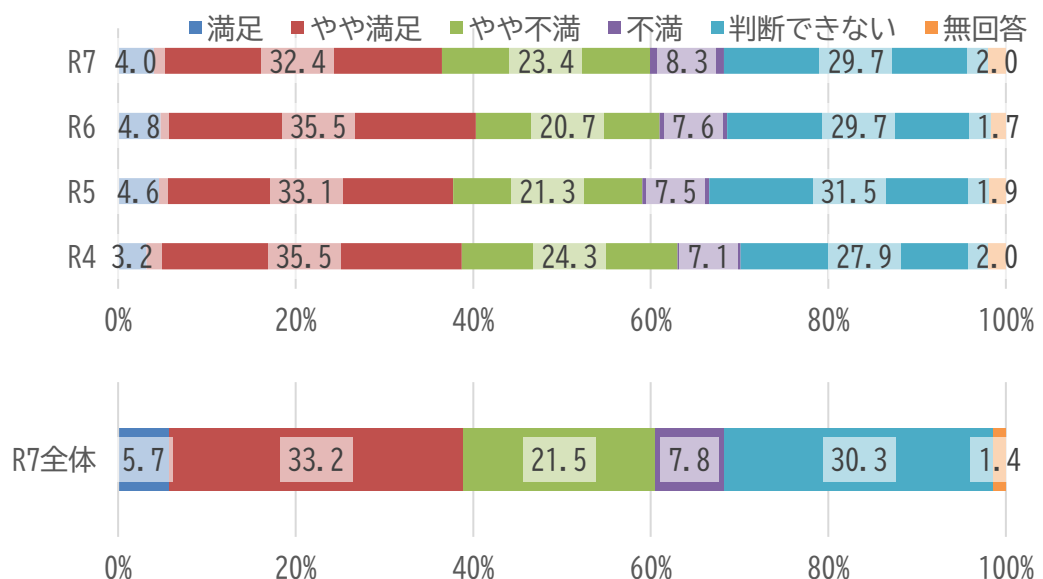
(1) 施策を推進するための事務事業

(10 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
おらほの地域自慢事業	市民連携推進課	P 86
町内会等活動PR事業	市民連携推進課	P 86
町内会等振興交付金事業	市民連携推進課	P 87
地域集会施設整備事業	福祉政策課	P 87
コミュニティ助成事業	市民連携推進課	P 87
地域担当職員制度事業	市民連携推進課	P 87
連合町内会連絡協議会連携事業	市民連携推進課	P 87
「地域の底力」実践プロジェクト促進事業	市民連携推進課	P 87
市長との公民館サロン開催事業	市民連携推進課	P 88
八戸市連合町内会活動活性化交付金事業	市民連携推進課	P 88

(2) 市民アンケートの結果

【設問】地域住民が相互に協力し、安全安心で住み良い地域づくりが進められるよう、コミュニティの振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 29位／全55問

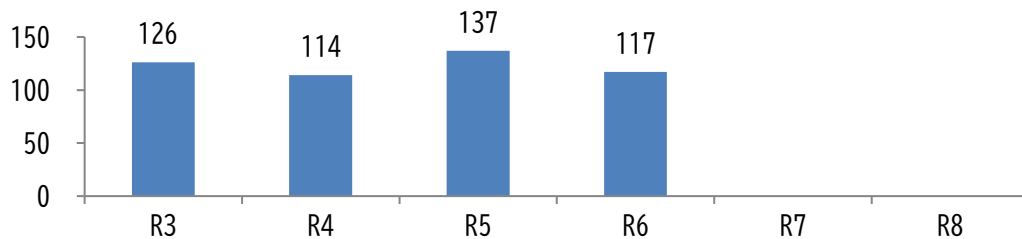
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①市窓口での町内会加入取次ぎ件数 資料：八戸市連合町内会連絡協議会（各年度集計）

指標の定義：市窓口での町内会加入取次ぎ件数

(単位：件)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 指標①について、市窓口での町内会加入取次ぎ件数は減少しているものの、連合町内会連絡協議会と連携し、転入転居の多い3～4月を加入促進月間として、街頭キャンペーンの実施など重点的に町内会加入を働きかける取組を行っている。今後も内容の検討を重ねながら、町内会への加入促進に向けた取組を継続して実施していく。
- また、令和4年度から開催してきた「市長との公民館サロン」は、地域の担い手育成や特色を活かした地域づくりに向けて、共に考え、実践するための場として、令和6年度からは「みんなで取り組む地域づくり」を共通テーマに設定し開催している。開催後は、地域の課題解決や活性化を目的に主体的に取り組む地域を支援する「地域の底力」実践プロジェクト促進事業や連合町内会の基盤強化や活性化を図る「八戸市連合町内会活動活性化交付金」制度の活用につながるよう支援を行っていることから、引き続き継続して実施していく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

■ 施策の方向性Ⅱ 社会参加しやすい環境をつくる

施策１．市民活動の促進

目 指 す 姿	・ 市民活動が活発に行われ、市民主体のまちづくりが進められている。
施策の内容	市民の協働意識の醸成を図るとともに、市民活動やボランティア活動を促進するための支援や環境づくりに取り組みます。

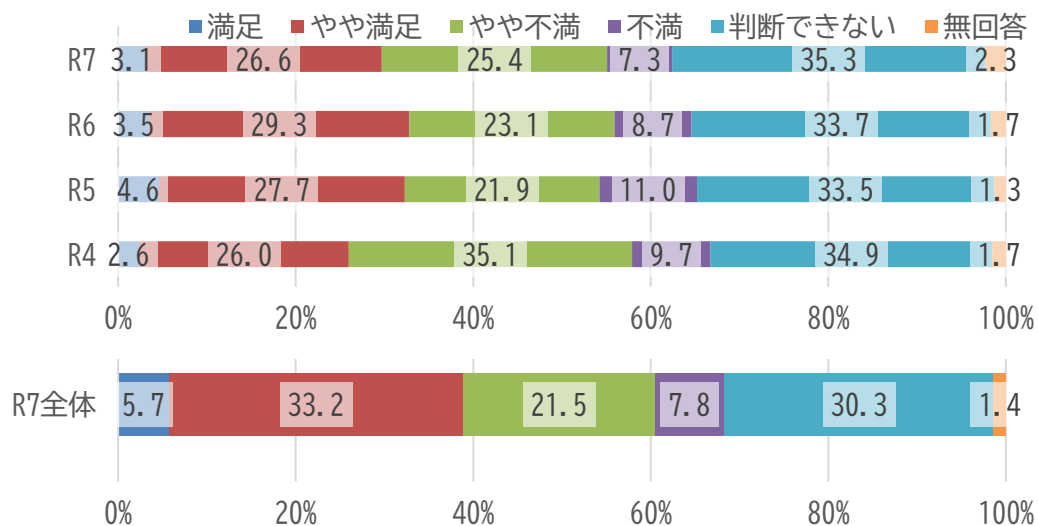
（１）施策を推進するための事務事業

（17 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
学生まちづくり助成金等事業	市民連携推進課	P 88
協働のまちづくり研修会の開催事業	市民連携推進課	P 88
協働のまちづくり出前講座事業	市民連携推進課	P 88
八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業	政策推進課	P 88
若者マチナカ会議運営事業	市民連携推進課	P 88
行政活動に参画するボランティアの促進事業	市民連携推進課	P 89
特定非営利活動法人に関する事務事業	市民連携推進課	P 89
高校生地域づくり実践プロジェクト事業	市民連携推進課	P 89
まちづくりインターン助成金制度	市民連携推進課	P 89
協働のまちづくり推進基金運用事業	市民連携推進課	P 89
「元気な八戸づくり」市民提案制度事業	市民連携推進課	P 90
八戸圏域住民活動促進事業	市民連携推進課	P 90
協働のまちづくり推進委員会の運営事業	市民連携推進課	P 90
「元気な八戸づくり」市民奨励金事業	市民連携推進課	P 90
住民活動保険制度	市民連携推進課	P 90
協働のまちづくり職員研修事業	市民連携推進課	P 90
地区公民館エアコン設置事業	社会教育課	P 90

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が自主的・自発的にまちづくりに関われるよう、市民活動の促進が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 40位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①市民活動サポートセンター「わいぐ」の登録団体数

資料：市民活動サポートセンター（各年度集計）

指標の定義：市民活動サポートセンター「わいぐ」の登録団体数

（単位：団体）

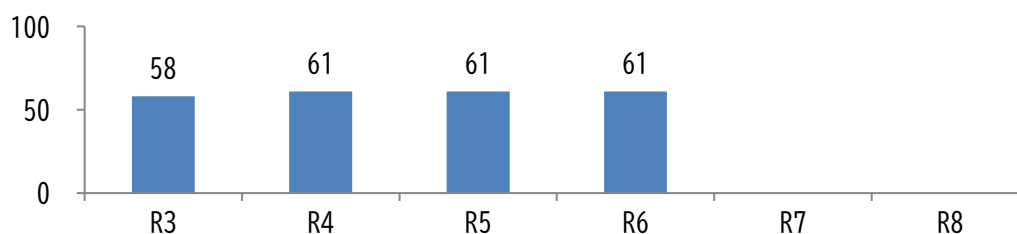


②NPO法人数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市所轄のNPO法人認証数

（単位：法人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- ・ 八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業では、同会議からの政策提言に基づき、令和5年度及び令和6年度合わせて30事業を実施し、今年度は「若者の自己実現」を切り口とした19事業を実施する予定である。今年度も提言に向けて会議を開催しており、10月上旬を目途に政策提言を提出していただく予定としている。
- ・ 指標①及び②について、人口減少や少子高齢化を背景に、団体の高齢化や担い手不足が進む中、指標が横ばいとなっていることは、施策の一定の効果があったと考えるが、引き続き、市民活動が活発に行われるよう、登録団体やNPO法人のニーズに沿ったサポートや、若い世代の市民活動・ボランティア活動の促進に向けた事業を実施していく。
- ・ 市民の生涯学習や地域コミュニティ活動の拠点である地区公民館について、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、令和6年度は18館（分館含む）に空調設備を設置した。残りの施設についても今後、計画的に事業を進めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・

施策２．高齢者の活躍促進

目 指 す 姿	・ 高齢者が生きがいを感じながら、自らの経験と知識を活かして、地域の中で生き生きと暮らしている。
施策の内容	高齢者の外出機会や活躍できる場を確保し、生きがいづくりや仲間づくりを支援するとともに、高齢者の社会参加の促進を図ります。

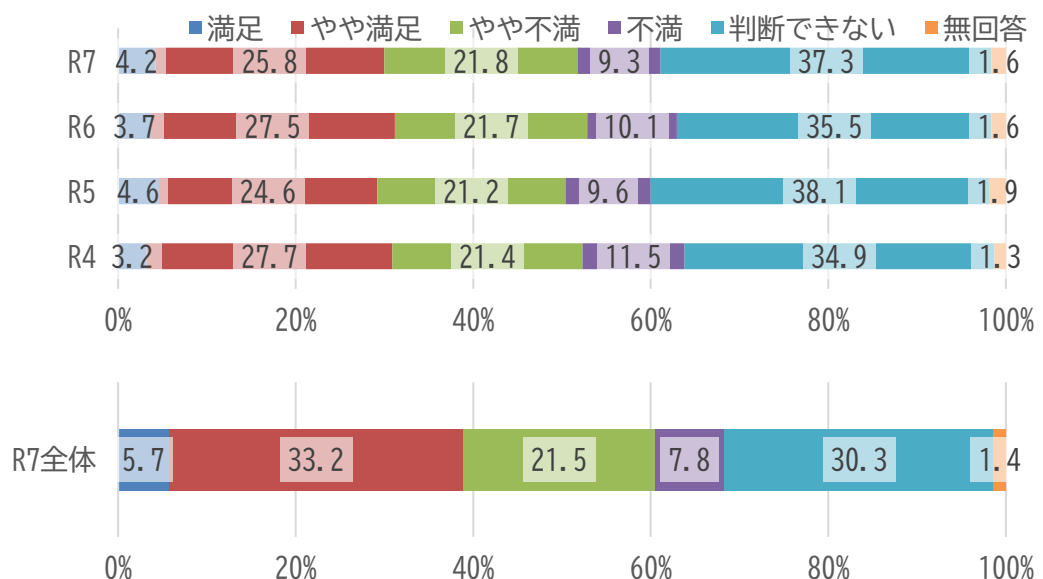
（１）施策を推進するための事務事業

（９事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
高齢者生きがいと健康づくり推進事業	高齢福祉課	P 91
鷗盟大学運営事業	高齢福祉課	P 91
高齢者バス特別乗車証交付事業	高齢福祉課	P 91
地区敬老事業支援事業	高齢福祉課	P 91
市敬老祝金支給事業	高齢福祉課	P 91
老人いこいの家等運営事業	高齢福祉課	P 91
シルバー人材センター育成・援助事業	産業労政課	P 91
老人クラブ活動支援事業	高齢福祉課	P 92
シニアはつらつポイント事業	高齢福祉課	P 92

（２）市民アンケートの結果

【設問】 高齢者が生きがいを感じながら、自らの経験と知識を活かして、地域の中で生き生きと暮らせるよう、高齢者の活躍促進が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 36位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

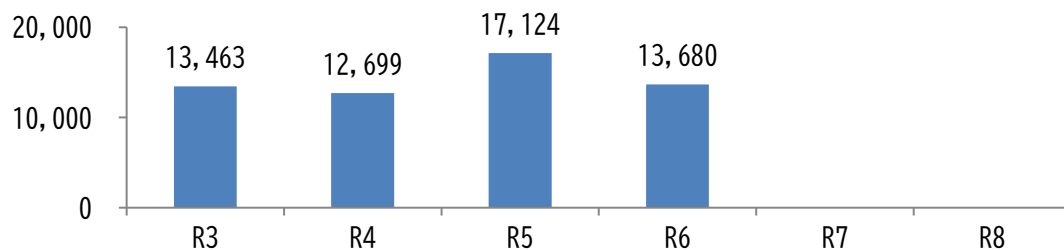
(3) 進行管理指標の動向

①高齢者バス特別乗車証の交付者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：高齢者バス特別乗車証の交付人数

(単位：人)

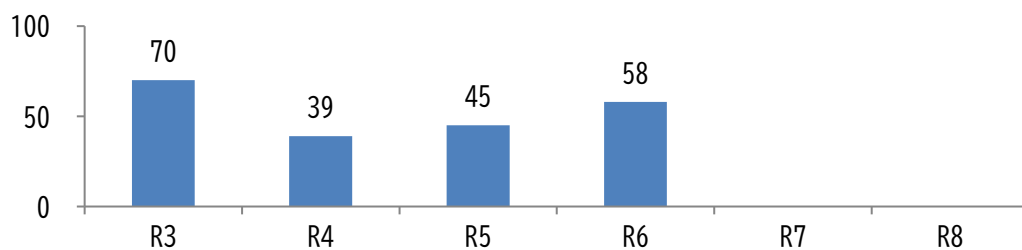


②鷗盟大学の卒業者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：鷗盟大学の卒業者数

(単位：人)

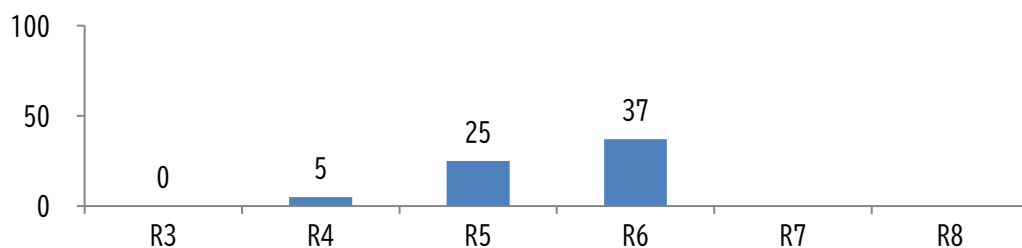


③シニアはつらつポイントの会員活動実人数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：高齢者が介護施設等でのボランティア活動をすると付与される「シニアはつらつポイント」の会員活動実人数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 指標①の高齢者バス特別乗車証の交付者数では、令和5年度の無償化事業により、新規交付申請者の掘り起こしが図られたことから、前年度と比較すると減少したものの、バス特別乗車証の発行により、高齢者の生きがいつくりや社会参加促進につながっていると考ええる。
- 指標②の鷗盟大学では、社会活動が徐々に再開されたことに伴い、入学者が増加傾向にあるとともに、令和6年度の卒業者も増加しているほか、指標③のシニアはつらつポイントでは、コロナ禍による事業休止時に会員が活動から離れたが、令和5年度に本格的に事業を再開して以降、活動実人数が徐々に増加している。
- 令和6年度の八戸市シルバー人材センターの会員数が1,311人で、前年度より3人増加した。今後も八戸市シルバー人材センターが高齢者の希望に応じた就業の機会の確保及び提供等を行えるよう、運営に対する補助を継続していく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策３．障がい者の社会参加の促進

目 指 す 姿	・ 障がい者が自らの個性や能力を発揮しながら、地域社会の中で活躍している。
施策の内容	障がいや障がい者についての市民や事業者の理解促進を図るとともに、障がい者の就労支援の充実や社会参加しやすい環境づくりに取り組みます。

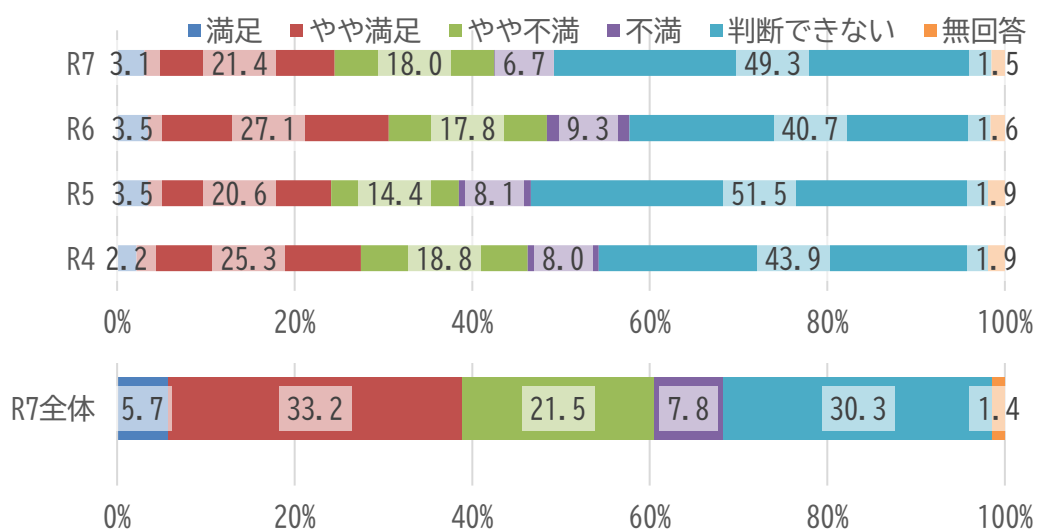
（１）施策を推進するための事務事業

（17 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
研修会等開催・支援事業	障がい福祉課	P 92
障がい者団体活動支援事業	障がい福祉課	P 92
手話への理解促進・普及事業	障がい福祉課	P 92
手話言語条例制定５周年記念イベント開催事業	障がい福祉課	P 92
障がい者バス特別乗車証交付事業	障がい福祉課	P 93
自動車運転免許取得・改造事業	障がい福祉課	P 93
重度心身障がい者タクシー料金助成事業	障がい福祉課	P 93
重度心身障がい者自家用車燃料券助成事業	障がい福祉課	P 93
手話通訳者・要約筆記者等派遣事業	障がい福祉課	P 93
手話通訳者設置事業	障がい福祉課	P 93
手話通訳者等養成事業	障がい福祉課	P 93
手話への理解促進・普及事業	障がい福祉課	P 94
軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	障がい福祉課	P 94
雇用奨励金交付事業	産業労政課	P 94
障がい者就労支援団体ネットワーク事業	障がい福祉課	P 94
障がい者就労サポーター養成事業	障がい福祉課	P 94
障がい者就業支援事業	障がい福祉課	P 94

(2) 市民アンケートの結果

【設問】障がい者が自らの個性や能力を発揮しながら、地域社会の中で活躍できるよう、障がい者の社会参加の促進が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 34位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

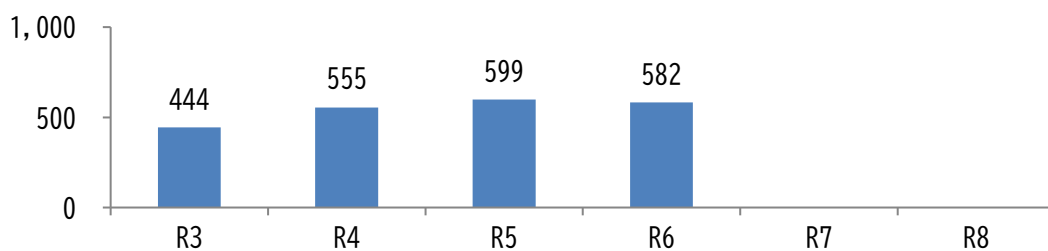
(3) 進行管理指標の動向

①手話通訳者の派遣件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：手話通訳者派遣件数

(単位：件)

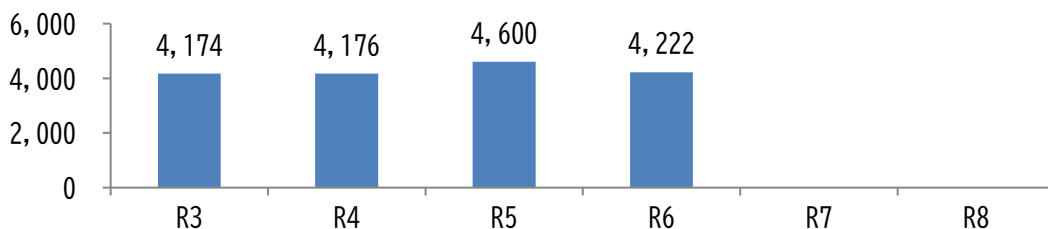


②バス特別乗車証の交付者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：障がい者バス特別乗車証の交付を受けた人数

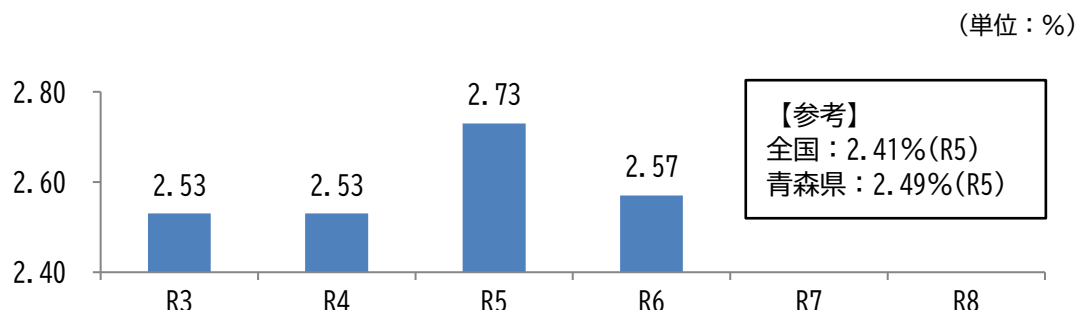
(単位：人)



③八戸公共職業安定所管内の障害者雇用率

資料：八戸公共職業安定所（各年度集計）

指標の定義：八戸公共職業安定所管内における企業数に対する雇用されている障がい者数の割合



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 指標①は、令和4，5年度に定期的に行われていたコロナワクチンの無料接種の際の派遣がなくなったことから、令和6年度はわずかに減少しているが、市に登録している派遣手話通訳者と依頼者の調整を行い、全ての派遣依頼に対応している。令和6年度は手話に対する理解と普及を図るため、手話言語条例制定5周年記念イベントを開催し、今後は、必要に応じた新規利用者の増加を図るため、事業内容を分かりやすく伝えられるようHPの見直し等を検討していく。
- 指標②のバス特別乗車証の交付者数では、令和5年度の無償化事業により、新規交付申請者の掘り起こしが図られていることから、前年度と比較すると減少傾向にあるものの、障がい者の社会参加促進につながったと考えられる。
- 指標③について、障がい者の法定雇用率は令和6年4月1日から、2.3%から2.5%へ引き上げとなっており、前年度と比較すると雇用率が低下しているが、企業が求めるスキルを持つ障がい者人材の不足、障がいの種類や程度によって企業が提供できる仕事内容とのマッチングが難しい場合など、様々な要因が複合的に影響していると考えられる。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策４．男女共同参画の推進

目 指 す 姿	・男女が、性別にかかわらず、自らの意思と選択に基づいて、家庭や職場、地域など社会のあらゆる分野において個性と能力を十分に発揮できている。
施策の内容	市民の男女共同参画に関する意識醸成を図るとともに、男女が共に活躍できる環境づくりに取り組みます。

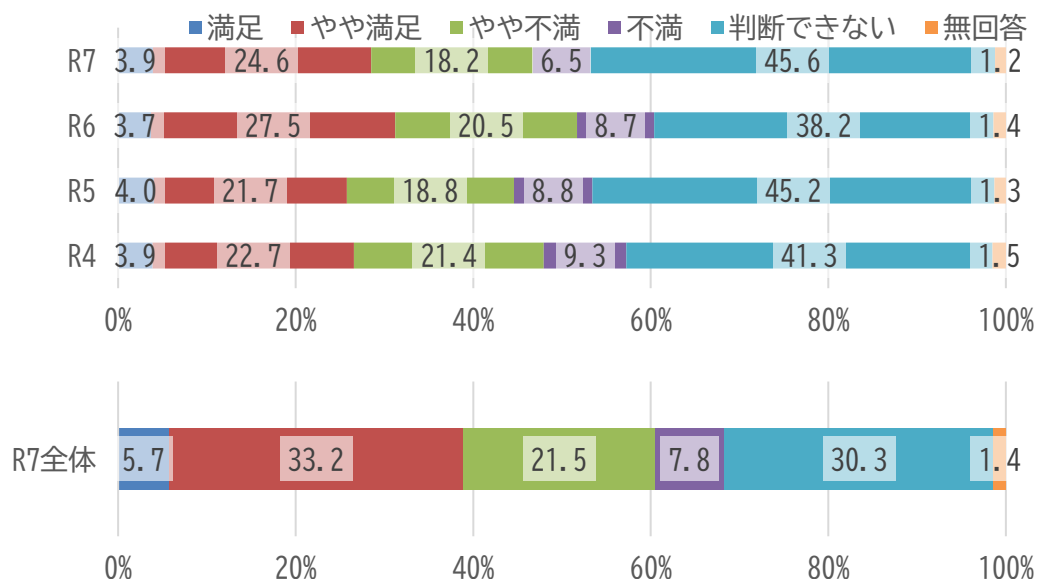
（１）施策を推進するための事務事業

（９事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
男女共同参画意識啓発講演会開催事業	市民連携推進課	P 95
教育関係者等研修会開催事業	市民連携推進課	P 95
男女共同参画意識啓発事業	市民連携推進課	P 95
ロールモデルPR事業	市民連携推進課	P 95
男女共同参画情報発信事業	市民連携推進課	P 95
LGBT 等理解促進事業	市民連携推進課	P 95
女性チャレンジ講座開催事業	市民連携推進課	P 96
附属機関における女性委員登用推進事業	行政管理課	P 96
女性活躍推進支援事業	市民連携推進課	P 96

（２）市民アンケートの結果

【設問】男女が性別にかかわらず、自らの意思と選択に基づいて、個性と能力を十分に発揮できるよう、男女共同参画が推進されている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 28位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

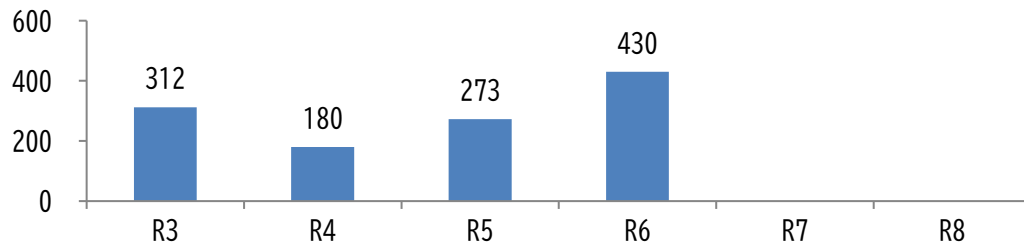
(3) 進行管理指標の動向

①男女共同参画意識啓発講演会の参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：男女共同参画意識啓発講演会の参加者数

(単位：人)



②女性チャレンジ講座（登録制）の累計受講者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：女性チャレンジ講座（登録制）の累計受講者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 男女共同参画意識啓発講演会の参加者数は、前年度より大きく増加している。今後も多くの市民に参加してもらえよう、講師やテーマについて検討していく。
- 女性チャレンジ講座をはじめとする各種事業を継続して男女共同参画に関する意識醸成や LGBT 等に関する理解促進を図るとともに、令和6年度は新たに啓発動画の制作や男性チャレンジ講座の開催により、男性の家事参画意識の醸成を図っている。
- 附属機関における女性委員登用推進事業において、女性チャレンジ講座修了式、鷗盟大学入学説明会および成人式にて公募委員候補者登録制度のPRチラシを配布したほか、市内大学等に対し附属機関委員公募の情報の周知を依頼し、多様な市民の参加を促している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策5. 多文化共生の推進

目指す姿	・国籍にかかわらず、全ての住民が互いの文化・習慣等を尊重し対等な関係を築きながら、共に地域社会で暮らしている。
施策の内容	外国人住民が安心して暮らせる環境づくりを推進するとともに、地域における異文化理解の促進を図ります。また、学校生活への適応が不十分な児童生徒への日本語教育の充実を図ります。

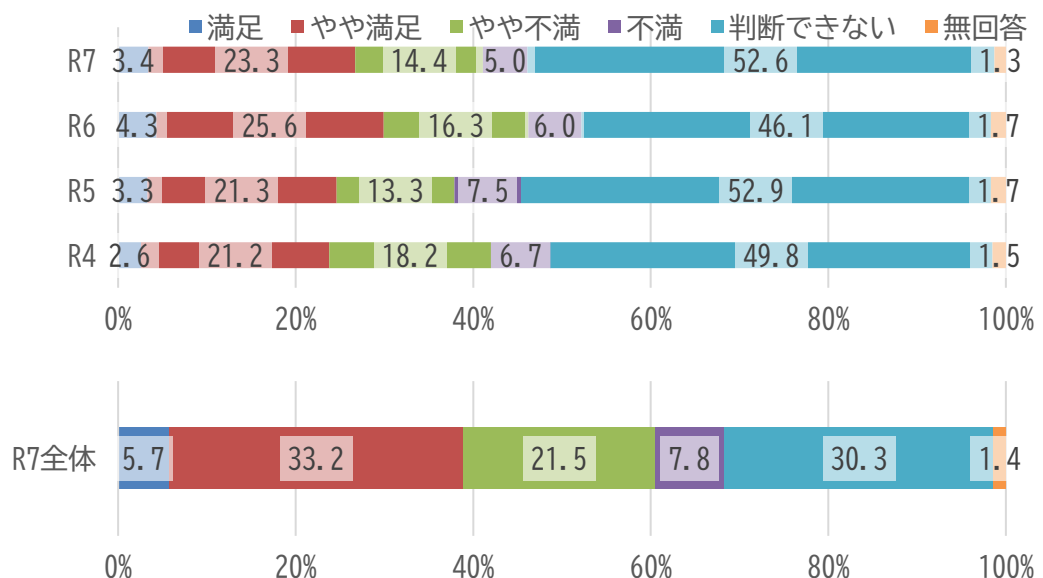
(1) 施策を推進するための事務事業

(4事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
八戸国際交流協会事業（民間）	市民連携推進課	P 96
地域国際化団体支援事業	市民連携推進課	P 96
多文化共生推進事業	市民連携推進課	P 96
日本語教育支援事業	学校教育課	P 97

(2) 市民アンケートの結果

【設問】住民が国籍にかかわらず互いの文化・習慣等を尊重しながら、共に地域社会で暮らせるよう、多文化共生が推進されている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 22位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

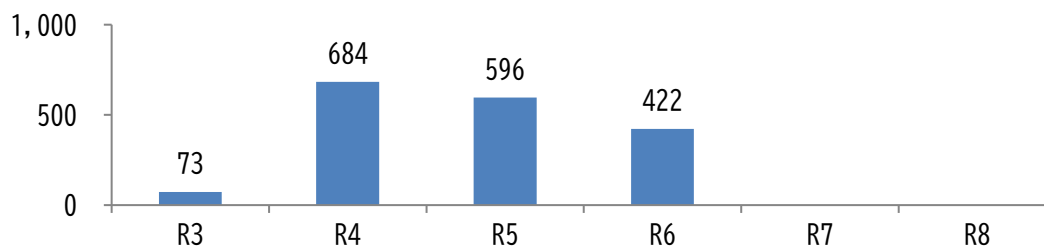
(3) 進行管理指標の動向

①多言語生活情報リビングガイドの配布数

資料：八戸国際交流協会（各年度集計）

指標の定義：多言語生活情報リビングガイドの配布数

（単位：冊）

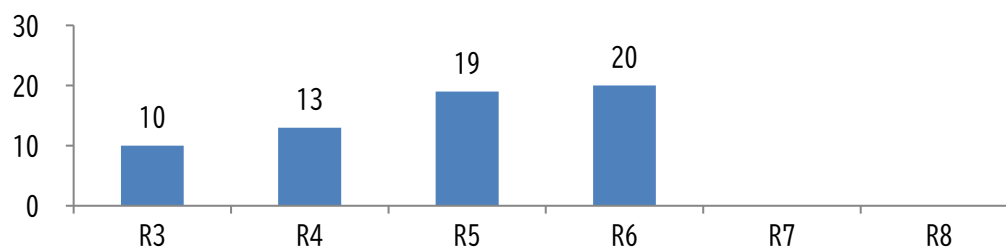


②小中学校において日本語教育支援を受けた児童生徒数

資料：八戸市教育委員会（各年度集計）

指標の定義：小中学校において日本語教育支援を受けた児童生徒数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 指標①について、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策緩和（外国人の新規入国制限の見直し等）が実施されたことにより、令和4年度～令和5年度は外国人転入者の急増が影響しているものと考えられるが、現在も在住外国人は増加傾向にあり、窓口での相談件数も増加傾向にあるため、リビングガイドについては引き続き配布を行っていく。そのほか、日本語講座や交流イベントの実施など在住外国人に必要な支援を引き続き行っていく。
- 外国人住民が増加していることから、外国人住民が安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、今年度は、地域における異文化理解の促進を図るため、多文化共生推進施策の総合的、戦略的な推進を目的とした多文化共生プランを策定する。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・